

高須小学校南舎外壁改修工事

図 面 リ ス ト					
意 匠 図					
A-01	改修特記仕様書（１）	A-11	外部階段詳細図		
A-02	改修特記仕様書（２）	A-12	天井伏図		
A-03	改修特記仕様書（３）	A-13	ｽﾎｰﾌﾞ 差掛け詳細図		
A-04	改修特記仕様書（４）	A-14	開放渡り廊下１【参考図】		
A-05	付近見取図・配置図	A-15	開放渡り廊下２【参考図】		
A-06	仮設計画図	A-16	建具配置図【参考図】		
A-07	平面図【参考図】	A-17	建具ﾘｽﾄ １【参考図】		
A-08	北・西立面図	A-18	建具ﾘｽﾄ ２【参考図】		
A-09	南・東立面図				
A-10	矩計図				

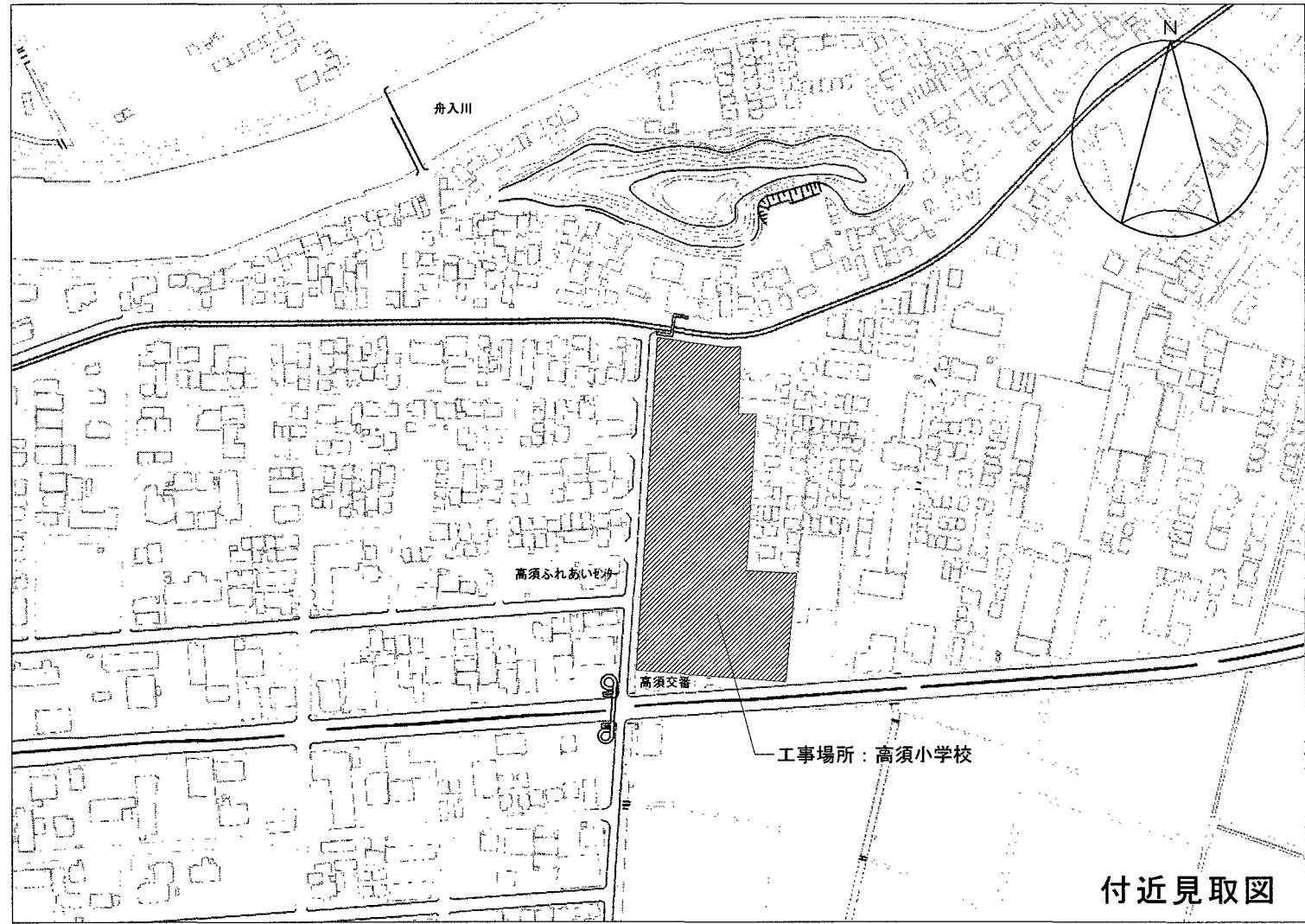
高須小学校南舎外壁改修工事		特記仕様書																																							
I 工 事 概 要																																									
1. 工事場所		高知市高須1丁目1番55号																																							
2. 工事種目		【南舎】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積 1,772㎡(渡り廊下棟含む) 1) 外壁改修 一式																																							
3. 関連工事等		・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 ○高知市立小学校等（4校）屋内運動場屋根改修工事																																							
4. 概成工期		・完成期限の（ ）日前 （令和 年 月 日）																																							
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)		令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。																																							
II 建 築 工 事 仕 様																																									
1. 特記仕様		1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。																																							
2. 適用基準等		図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省（建設）大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版） ※公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版） ※建築工事標準詳細図（令和4年版） ・敷地調査共通仕様書（令和4年版） ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）																																							
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について		○対象（ ・発注者指定型 ○受注者希望型 ） 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実施要領（営繕工事編）による。 (https://www.city.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)																																							
・対象外（理由： ）																																									
項 目		特 記 事 項																																							
一般共通事項																																									
①	工事実績情報サービス（CORINS）への登録（請負金額500万円以上）（受注、変更、完成時）	登録の手続きについては、（一財）日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4]																																							
2	総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。																																							
3	総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]																																							
④	工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。																																							
⑤	工事写真	工事写真はし版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。（A4版台紙） [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）」による。 デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建設第14号（令和5年3月1日付）「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による。																																							
⑥	下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。																																							
7	電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]																																							
⑧	施工条件	施工日及び施工時間 ☉ 1.3.5(1) (7) による。 ○ 図示（図面番号A-05） ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬出時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○ 図示（図面番号A-05、A-06）																																							
⑨	交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ○学期中の作業日は 1 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ・ 監督職員と協議し、適宜配置する。																																							
項 目		特 記 事 項																																							
⑩		工事安全計画書																																							
⑪		統括安全衛生管理義務者の指名																																							
⑫		発生材の処理																																							
		配置人員の資格 ・ 1名以上／1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者（1級又は2級）を配置する工事。 ※交通誘導に關し、1名以上／1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 <table><tr><td>資格</td><td>資 格 要 件</td><td>配置人数</td></tr><tr><td>1, 2級交通誘導警備員（交通誘導警備員A）</td><td>交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの</td><td>人</td></tr><tr><td>交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等（交通誘導警備員B）</td><td>警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が1年以上であるもの</td><td>63 人</td></tr></table> なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。 産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で行う場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。（積替・保管についても同様とする） 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下廃棄物処理法という）施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影（現場搬出時及び処分場到着時）し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期限内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分又は再生）を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票（以下マニフェストという）により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのマニフェストの写しを提出する。 ただし、産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合には、工期限内に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。 この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにB票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの（ ・ ） ・ 現場再利用を図るもの（ ・ ） ○再資源化を図るもの（ ※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート ） 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・ 行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う（ ・ ） ・ 行わない <table><tr><td>・ P C Bを含む機器類</td><td></td></tr><tr><td>・ 変圧器</td><td></td></tr><tr><td>・ コンデンサ</td><td></td></tr><tr><td>・ 蛍光灯，H I D灯器具の安定器</td><td></td></tr><tr><td>・ その他（ ）</td><td></td></tr></table> <table><tr><td>・ P C B含有シーリング材</td><td></td></tr><tr><td>・ 廃油</td><td></td></tr><tr><td>・ 廃酸 ・ 廃アルカリ</td><td></td></tr><tr><td>・ 臭化リチウム水溶液</td><td></td></tr><tr><td>・ 電池の溶解液</td><td></td></tr><tr><td>・ ダイオキシン類</td><td></td></tr></table>		資格	資 格 要 件	配置人数	1, 2級交通誘導警備員（交通誘導警備員A）	交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人	交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等（交通誘導警備員B）	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が1年以上であるもの	63 人	・ P C Bを含む機器類		・ 変圧器		・ コンデンサ		・ 蛍光灯，H I D灯器具の安定器		・ その他（ ）		・ P C B含有シーリング材		・ 廃油		・ 廃酸 ・ 廃アルカリ		・ 臭化リチウム水溶液		・ 電池の溶解液		・ ダイオキシン類								
資格	資 格 要 件	配置人数																																							
1, 2級交通誘導警備員（交通誘導警備員A）	交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの	人																																							
交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等（交通誘導警備員B）	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が1年以上であるもの	63 人																																							
・ P C Bを含む機器類																																									
・ 変圧器																																									
・ コンデンサ																																									
・ 蛍光灯，H I D灯器具の安定器																																									
・ その他（ ）																																									
・ P C B含有シーリング材																																									
・ 廃油																																									
・ 廃酸 ・ 廃アルカリ																																									
・ 臭化リチウム水溶液																																									
・ 電池の溶解液																																									
・ ダイオキシン類																																									
⑬		再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出（請負金額100万円以上）																																							
⑭		工事の保険																																							
⑮		契約保証																																							
⑯		前払金支出割合区分補正																																							
⑰		証明書の提出（グリーン購入法）																																							
⑱		石綿含有建材の調査																																							
		事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※改修範囲 貸与資料 ※有（ ○既存の設計図書 ○石綿含有分析調査表（外壁吹付材：含有なし） ） 分析調査 ※書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う（ 調査建材使用部位 調査建材名 検体数 ） 分析方法 ※定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。																																							
⑲		施工数量調査																																							
⑳		技能士及び技能資格者																																							
		調査範囲 ☉ 図示 ○改修建築物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 ・ 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 ・ 外壁調査は、外壁改修フローに於ける外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。（必要に応じ写真等を添付する） ※適用する（○：一級、●：二級） [1.7.2][1.7.3] <table><tr><td>工 事 種 別</td><td>技 能 検 定 の 作 業 の 種 別</td></tr><tr><td>○仮設工事</td><td>※ ●とび作業（又は足場組立作業主任者） ・</td></tr><tr><td>・ 鉄筋工事</td><td>※ ○鉄筋組立作業 ・</td></tr><tr><td>・ コンクリート工事</td><td>・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業</td></tr><tr><td>・ 鉄骨工事</td><td>※ ●とび作業</td></tr><tr><td>・ ブロック・ALCパネル工事</td><td>・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ （単一）エーエルシーパネル工事作業</td></tr><tr><td>○防水工事</td><td>・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>・ 石工事</td><td>※ ○石張り作業 ・</td></tr><tr><td>・ タイル工事</td><td>※ ○タイル張り作業 ・</td></tr><tr><td>・ 木工</td><td>※ ○大工工事作業 ・</td></tr><tr><td>・ 屋根及びとい工事</td><td>・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業</td></tr><tr><td>・ 金属工事</td><td>・ ○鋼製下地工事作業 ・ （単一）金属製バルコニー工事作業</td></tr><tr><td>・ 左官工事</td><td>※ ○左官作業 ・</td></tr><tr><td>・ 建具工事</td><td>・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業</td></tr><tr><td>・ カーテンウォール工事</td><td>※ ○金属製カーテンウォール工事作業 ・</td></tr><tr><td>・ 塗装工事</td><td>※ ○建築塗装作業 ・</td></tr><tr><td>・ 内装工事</td><td>・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳装作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業</td></tr><tr><td>・ 植栽工事</td><td>※ ○造園工事作業 ・</td></tr><tr><td>○その他</td><td>○樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） 又は（単一）樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） ・ 家具手加工作業</td></tr></table> 適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類（運転免許証等）の写しを提出する。		工 事 種 別	技 能 検 定 の 作 業 の 種 別	○仮設工事	※ ●とび作業（又は足場組立作業主任者） ・	・ 鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業 ・	・ コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業	・ 鉄骨工事	※ ●とび作業	・ ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ （単一）エーエルシーパネル工事作業	○防水工事	・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業	・ 石工事	※ ○石張り作業 ・	・ タイル工事	※ ○タイル張り作業 ・	・ 木工	※ ○大工工事作業 ・	・ 屋根及びとい工事	・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業	・ 金属工事	・ ○鋼製下地工事作業 ・ （単一）金属製バルコニー工事作業	・ 左官工事	※ ○左官作業 ・	・ 建具工事	・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業	・ カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業 ・	・ 塗装工事	※ ○建築塗装作業 ・	・ 内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳装作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業	・ 植栽工事	※ ○造園工事作業 ・	○その他	○樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） 又は（単一）樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） ・ 家具手加工作業
工 事 種 別	技 能 検 定 の 作 業 の 種 別																																								
○仮設工事	※ ●とび作業（又は足場組立作業主任者） ・																																								
・ 鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業 ・																																								
・ コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業																																								
・ 鉄骨工事	※ ●とび作業																																								
・ ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ （単一）エーエルシーパネル工事作業																																								
○防水工事	・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業																																								
・ 石工事	※ ○石張り作業 ・																																								
・ タイル工事	※ ○タイル張り作業 ・																																								
・ 木工	※ ○大工工事作業 ・																																								
・ 屋根及びとい工事	・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業																																								
・ 金属工事	・ ○鋼製下地工事作業 ・ （単一）金属製バルコニー工事作業																																								
・ 左官工事	※ ○左官作業 ・																																								
・ 建具工事	・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業																																								
・ カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工事作業 ・																																								
・ 塗装工事	※ ○建築塗装作業 ・																																								
・ 内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳装作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業																																								
・ 植栽工事	※ ○造園工事作業 ・																																								
○その他	○樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） 又は（単一）樹脂接着剤注入工事作業（エポキシ樹脂注入工事） ・ 家具手加工作業																																								
21		化学物質の室内濃度の測定																																							
		化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所（ ）箇所 施工前・施工後（計 回測定） 測定対象室（ ） なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となつたことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後（備品の搬入等を含む）に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物（VOC）の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。																																							
22		直接仮設の養生																																							
23		建築材料等																																							
		本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。（記載順序は不同）また、「評価名簿による」と特記されたものについては、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。 なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1： 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2： 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。																																							
24		特別な材料の工法																																							
25		風圧力																																							
		本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速（Vo）及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速（Vo）： ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ Ⅲ ・ Ⅱ 、 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部（家具を含む） 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。																																							
26		仕上面の出隅処理																																							

		工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
		高須小学校南舎外壁改修工事	和	田	田	濱	A-01
		図 面 名	改 修 特 記 仕 様 書 （ 1 ）				
			2024.04 縮 尺 1 /				
			作 図 令和7年 4月 日				

高知市 都市建設部 公共建築課

項 目		特 記 事 項						項 目		特 記 事 項						項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																								
6	塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1～表3.6.3]						7	FRP防水	ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ 表面の仕上げ ・平滑 ・粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム ・ 押え金物の寸法 ※図示 ・						⑧	シーリング	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブリーダー張り ・適用する ・エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table><tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・SR-1</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr><tr><td>・SR-2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>図示</td></tr><tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr><tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table><tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr><tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13</td><td>※10以上</td></tr><tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※10以上</td></tr></table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] <table><tr><th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr><tr><td>○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)</td><td>φ100</td><td>※たてどい</td></tr><tr><td>・硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※軒どい ・ たてどい</td></tr></table> とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種：※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他：※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去 ※図示 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示 鋼管製といの防露巻き ・表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・図示 ルーフドレンの取付け ・水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。 10 アルミニウム製笠木 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) [3.9.2][表3.9.1] ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅()mm 板厚(※2.0)mm 表面処理 種別 表5.2.2による()種 色合い等 ※標準色 既存の笠木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示 ・) ・行わない ・一時取外し再取付け[3.9.3] 新規アルミニウム製笠木の下の補修工法 ※図示 板材折曲げ形笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 11 保証書 (シーリング除く) 受注者、施工者、材料製造所連名による 10 年保証(完成届提出日より15日後から) 12 高日射反射率塗料塗り JIS K 5675(屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率 防水に適合する保護塗料とする。 外壁改修工事(共通事項) ① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table><tr><th>比重</th><th>押出し性 (秒)</th><th>スランプ (Mm)</th><th>質量変化率 (%)</th><th>引張り強さ (MPa)</th><th>破断時伸び (%)</th><th>引張り接着性</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上</td></tr><tr><td>表示値 ±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上</td><td>低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr></table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存 した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table><tr><th>初期硬化性(MPa)</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th><th>硬化収縮率(%)</th></tr><tr><td>標準2.0以上</td><td>標準6.0以上</td><td>50.0以上</td><td>30.0以上</td><td>3.0以下</td></tr></table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存 した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 ③ 浮き部改修工法 [4.3.11～16] <table><tr><th rowspan="2">改修工法の種類</th><th colspan="3">アンカーの本数</th><th colspan="3">注入口の箇所数</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>一般部分 本/m2</th><th>指定部分 本/m2</th><th>狭幅部 本/m</th><th>一般部分 箇所/m2</th><th>指定部分 箇所/m2</th><th>狭幅部 箇所/m</th></tr><tr><td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16 ・</td><td>※25 ・</td><td>※5 ・</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>注入量 ※25mL</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※5 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※5 ・</td><td>注入量 ※25mL</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※5 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※5 ・</td><td>注入量 ※50mL</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※5 ・</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>注入量 ※25mL</td></tr><tr><td>○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※5 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※5 ・</td><td>注入量 ※25mL</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※5 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※5 ・</td><td>注入量 ※50mL</td></tr></table> アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm ・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示 外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ ① 既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4.5.4] <table><tr><th>工 法</th><th>処理範囲</th></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・高圧水洗工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・塗膜はく離削工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>※水洗い工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td></tr></table> 石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。 ② 下地調整材 [4.5.2～4.5.4] 材料 ※下地調整塗材 ※C-1() ・C-2() ・CM-2() [4.5.2～4.5.4] ・ポリマーセメントモルタル ・合成樹脂エマルジョンシーラー 工法 ※製造所の仕様による [4.5.4] ③ 仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1] 薄付け仕上塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1] <table><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・外装薄塗材Si</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材Si</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>○外装薄塗材E</td><td>○砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="4">増塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>・凹凸状</td><td>こて塗り</td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・着色骨材砂壁状</td><td></td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>・凹凸状</td><td>こて塗り</td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・凹凸状</td><td></td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・外装薄塗材S</td><td>・砂壁状</td><td>吹付け</td><td></td></tr></table> 厚付け仕上塗材 <table><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・外装厚塗材C</td><td>・吹放し ・凸部処理</td><td>吹付け</td><td>セメント系以外の上塗材 ・</td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>・凹凸状</td><td>こて塗り</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ひき起こし</td><td>・掻き落とし</td><td></td></tr><tr><td>・外装厚塗材Si</td><td>・吹放し ・凸部処理</td><td>吹付け</td><td>上塗材</td></tr><tr><td>・外装厚塗材E</td><td>・平たん状 ・凹凸状</td><td>・こて塗り ・ローラー</td><td>・適用する</td></tr></table> 複層仕上塗材 <table><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・複層塗材CE</td><td rowspan="2">・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・複層塗材Si</td></tr><tr><td>○複層塗材E</td><td rowspan="2">・凸部処理</td><td rowspan="2">○吹付け ○ローラー(図示部)</td><td rowspan="2">上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7ｸﾘｽﾀﾙ等やあり</td></tr><tr><td>・複層塗材RE</td></tr><tr><td>・可とう形複層塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">増塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材E</td><td rowspan="2">・凸部処理</td><td rowspan="2">凹凸状</td><td rowspan="2">吹付け</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材RE</td></tr></table> 可とう形改修用仕上塗材 <table><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・平たん状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材RE</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示 ・) [4.5.2] 4 マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1] 種類 ・A種 ・B種 5 外壁用塗膜防水材塗り [4.1.5][4.7.2～3][表4.7.1] 仕上げの形状及び工法 ・ 仕上塗材の耐候性 ・ 地下準動緩衝材 ・適用する ・適用しない 模様材の種類 ・ 仕上げを砂壁状、じゅらく状等とする場合の模様材の種類 ・ 仕上塗料の種類 ・						種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	・SR-1	シリコーン系		・SR-2			○MS-2	変成シリコーン系	図示	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		・			箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※10以上	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)	φ100	※たてどい	・硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい	比重	押出し性 (秒)	スランプ (Mm)	質量変化率 (%)	引張り強さ (MPa)	破断時伸び (%)	引張り接着性					標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上	表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	破断時の伸び 10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分 本/m2	指定部分 本/m2	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m2	指定部分 箇所/m2	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	※5 ・	—	—	—	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※5 ・	※12 ・	※20 ・	※5 ・	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※5 ・	※12 ・	※20 ・	※5 ・	注入量 ※50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	—	—	—	注入量 ※25mL	○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	※9 ・	※16 ・	※5 ・	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	※9 ・	※16 ・	※5 ・	注入量 ※50mL	工 法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	※水洗い工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	○外装薄塗材E	○砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材 ・適用する	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	・着色骨材砂壁状		吹付け	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・平たん状	・凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	・凹凸状		吹付け	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材 ・	・平たん状	・凹凸状	こて塗り		・ひき起こし	・掻き落とし		・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	上塗材	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー	・適用する	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種 ・	・複層塗材Si	○複層塗材E	・凸部処理	○吹付け ○ローラー(図示部)	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7ｸﾘｽﾀﾙ等やあり	・複層塗材RE	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	・防水形複層塗材E	・凸部処理	凹凸状	吹付け	・防水形複層塗材RE	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー		・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け	・可とう形改修塗材RE			
		種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・SR-1	シリコーン系																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・SR-2																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○MS-2	変成シリコーン系	図示																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・																																																																																																																																																																																																																																																																																										
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																																																																																																																																																																																																																							
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※10以上																																																																																																																																																																																																																																																																																							
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)	φ100	※たてどい																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																																																																																																																																																																																																																																																								
比重	押出し性 (秒)	スランプ (Mm)	質量変化率 (%)	引張り強さ (MPa)	破断時伸び (%)	引張り接着性																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																						
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																																																																																																																																																																																																																																						
改修工法の種類	アンカーの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	一般部分 本/m2	指定部分 本/m2	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m2	指定部分 箇所/m2	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	※5 ・	—	—	—	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※5 ・	※12 ・	※20 ・	※5 ・	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※5 ・	※12 ・	※20 ・	※5 ・	注入量 ※50mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	—	—	—	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	※9 ・	※16 ・	※5 ・	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング 全面リペアメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※5 ・	※9 ・	※16 ・	※5 ・	注入量 ※50mL																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	処理範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																									
※水洗い工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																																																									
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○外装薄塗材E	○砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・平たん状	・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・着色骨材砂壁状		吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・平たん状	・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・凹凸状		吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・平たん状	・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ひき起こし	・掻き落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	上塗材																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																							
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・複層塗材Si																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○複層塗材E	・凸部処理	○吹付け ○ローラー(図示部)	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7ｸﾘｽﾀﾙ等やあり																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・複層塗材RE																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・防水形複層塗材E	・凸部処理	凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・防水形複層塗材RE																																																																																																																																																																																																																																																																																										
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・可とう形改修塗材RE																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		工 事 名		係		係 長		課 長補佐		課 長		図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																														
		高須小学校南舎外壁改修工事		和 田		田 中		濱 口		木 村		A-03																																																																																																																																																																																																																																																																														
		図 面 名		改修特記仕様書(3)		2024.04 縮 尺		1 /		作 図		令和7年 3月 日																																																																																																																																																																																																																																																																														

[illegible]



- ▲ : 工事車両出入口を示す。
- : 仮囲い ガードフェンス H=1,800程度を示す。
- ▨ : 改修対象建物を示す。
- ※ 施工条件、安全対策等
- ・登下校時間帯(学期中 7:30~8:30・15:00~16:30) (夏季休暇期間中 8:00~9:00・15:00~16:30)は工事関係車両の出入りを禁止とする。
 - ・工事に支障がない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
 - ・躯体の削孔及びびはつり作業は、授業中の作業を禁止とする。(作業禁止時間は時校表 ▨ による。)
 - ・外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
 - ・防犯カメラは、外部足場設置後に足場へ移設を行い、工事完了後元の位置に再設置すること。
 - ・夏季休業期間: 令和7年7月19日から8月31日

※ 現場作業不可日(予定は変更となる可能性があるため事前に施設管理者に確認すること。)

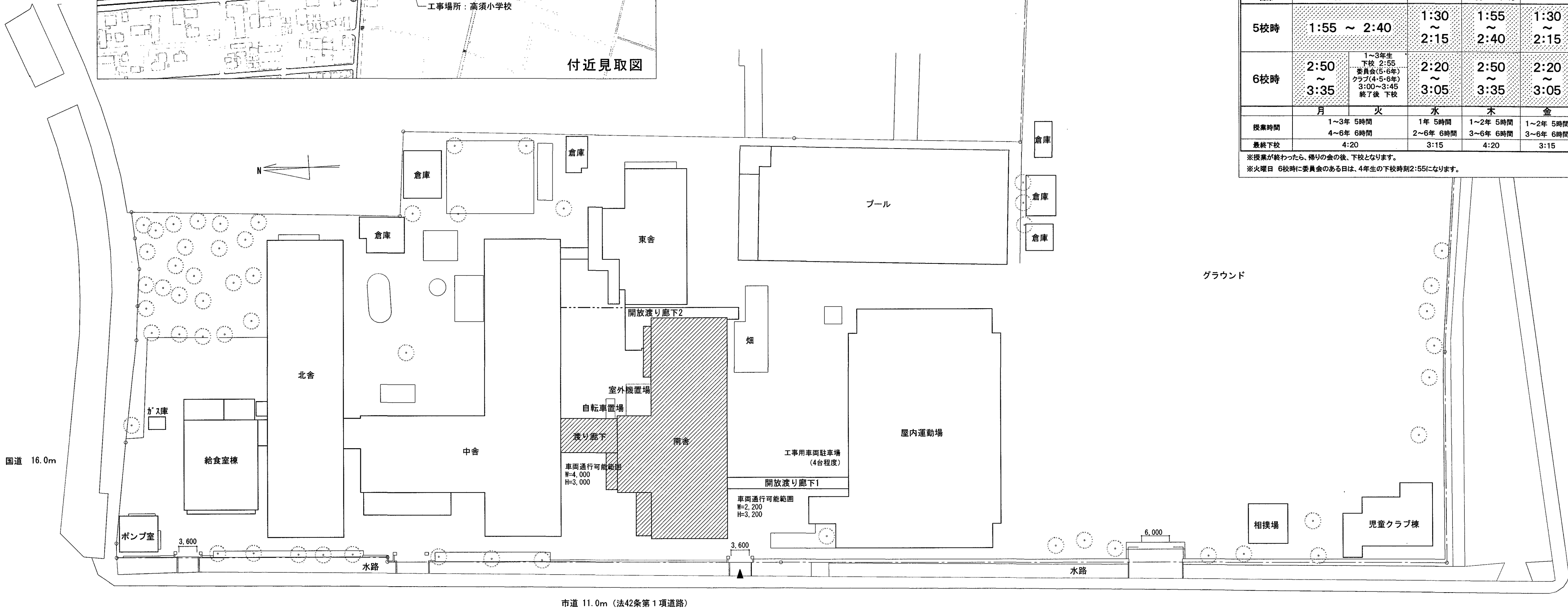
(作業不可日)

令和7年6月13日(午後)、令和7年9月12日(午後)、令和7年10月30日(午後)

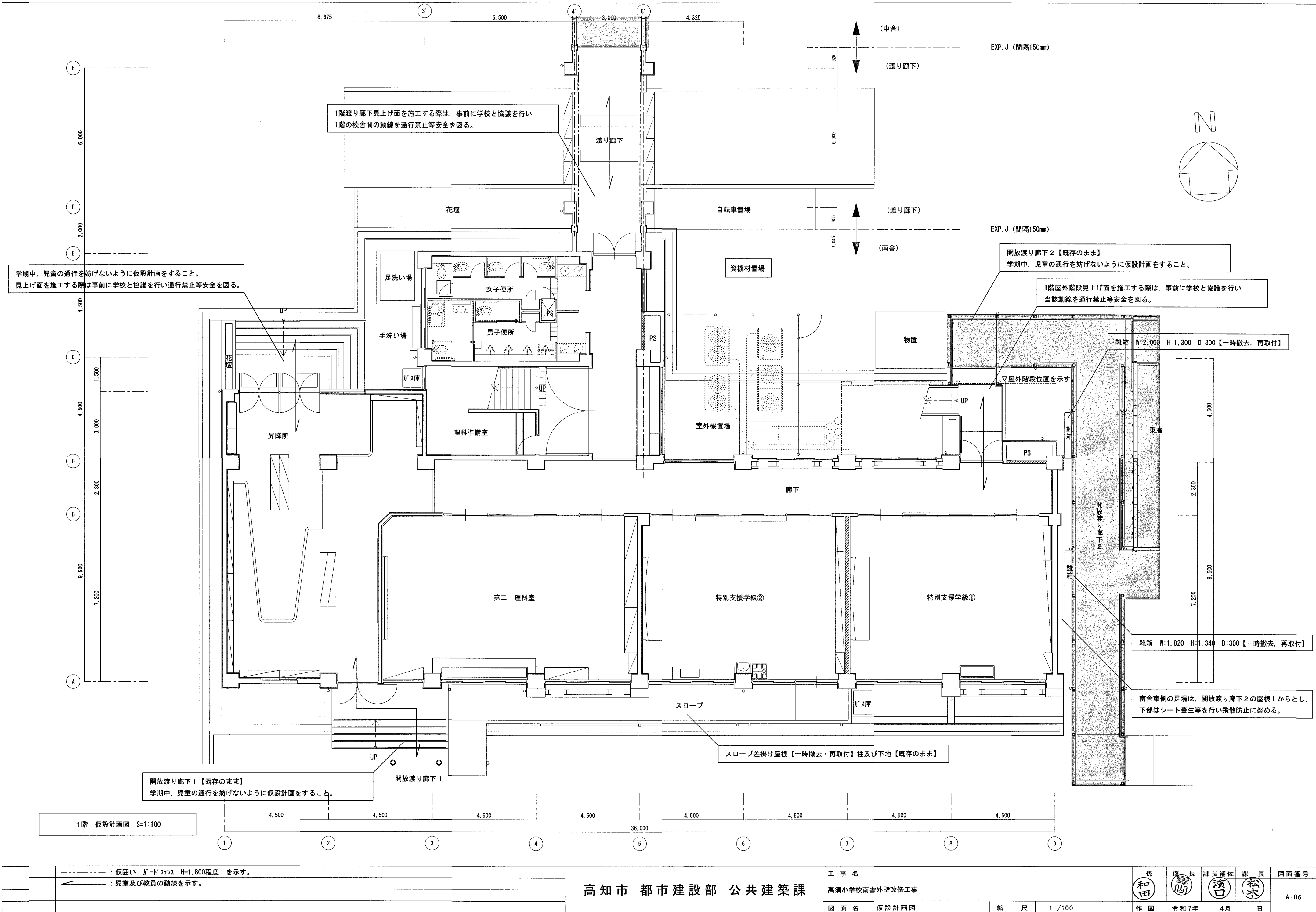
(音の出る作業不可日)

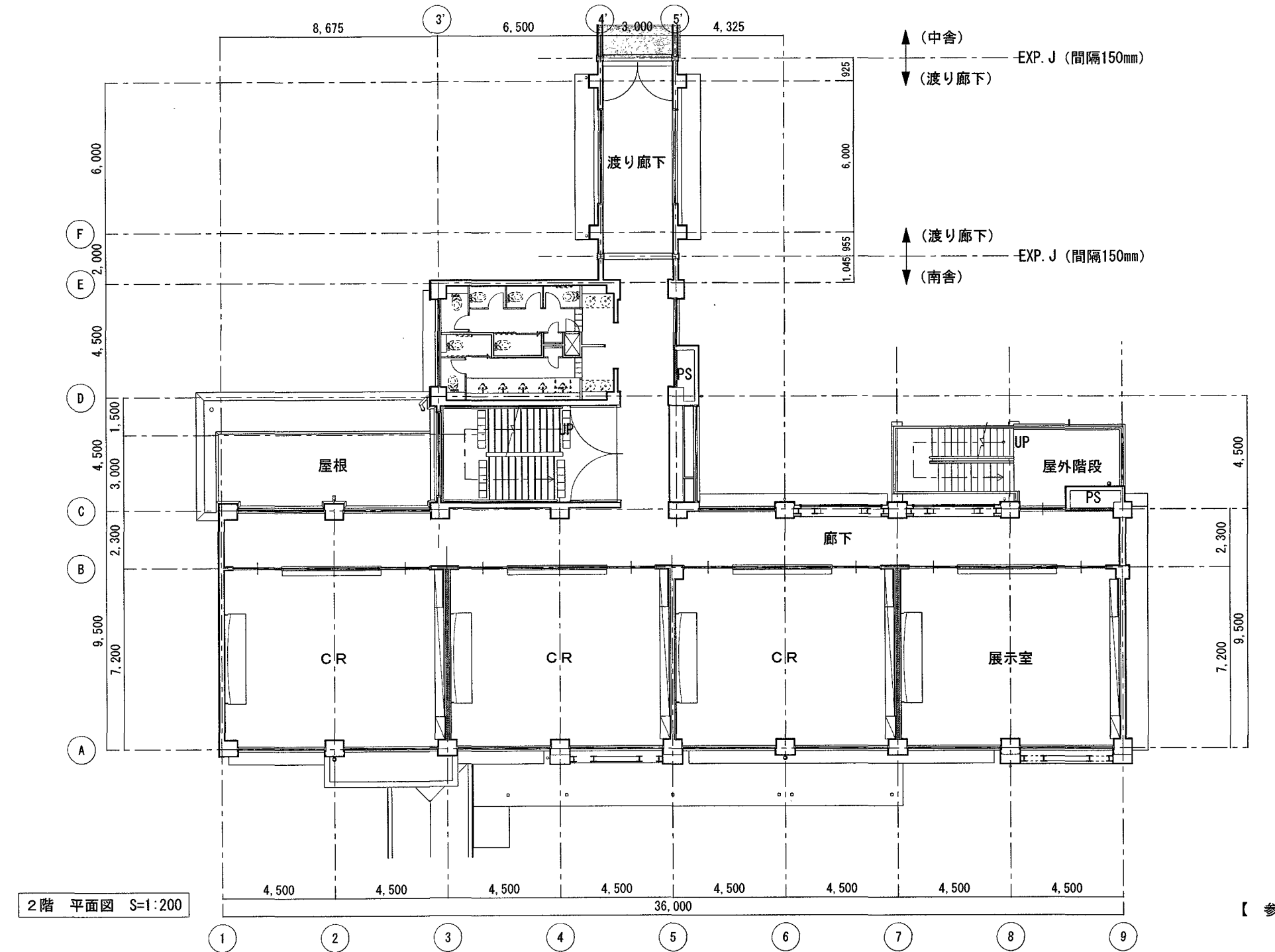
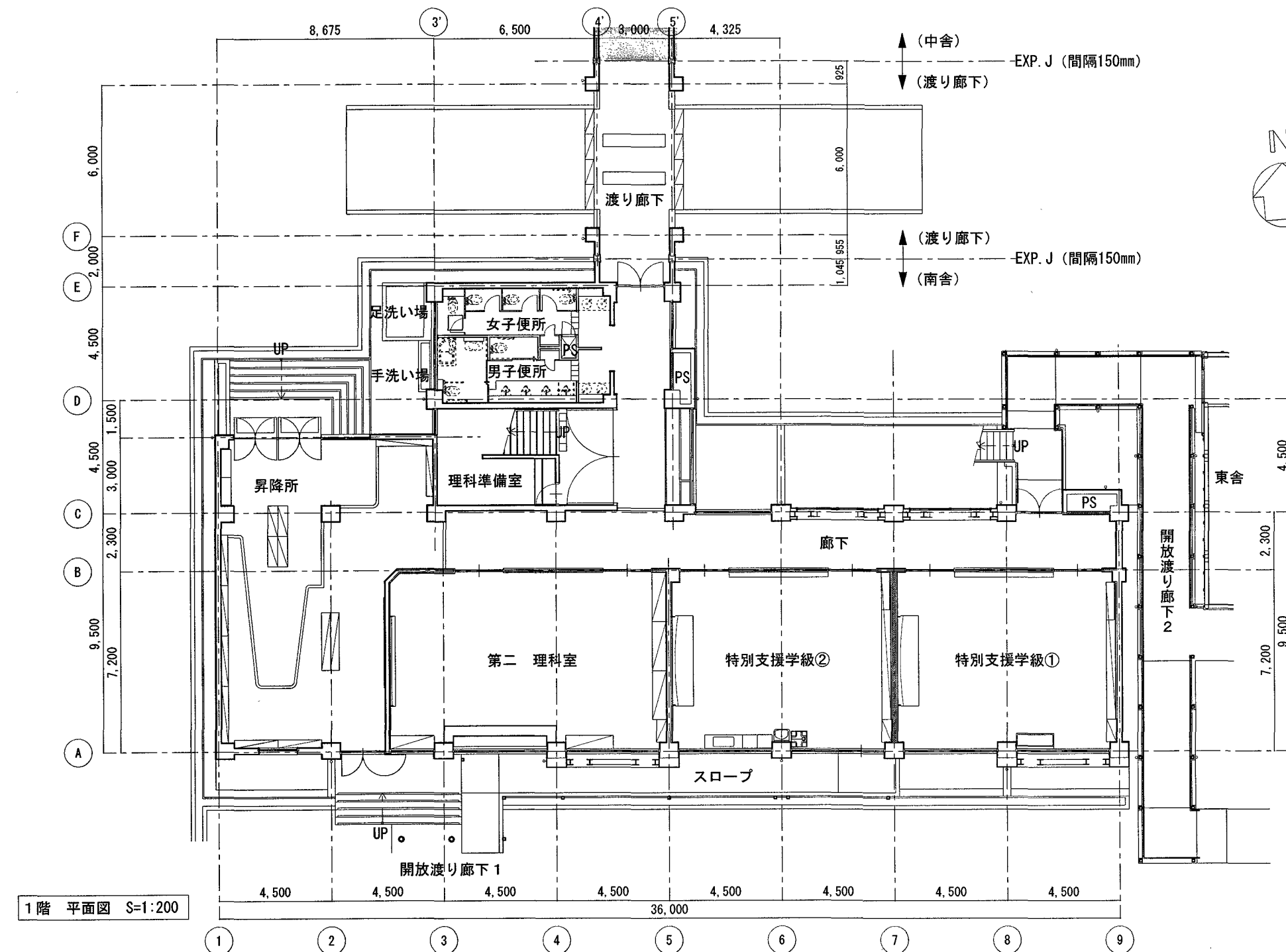
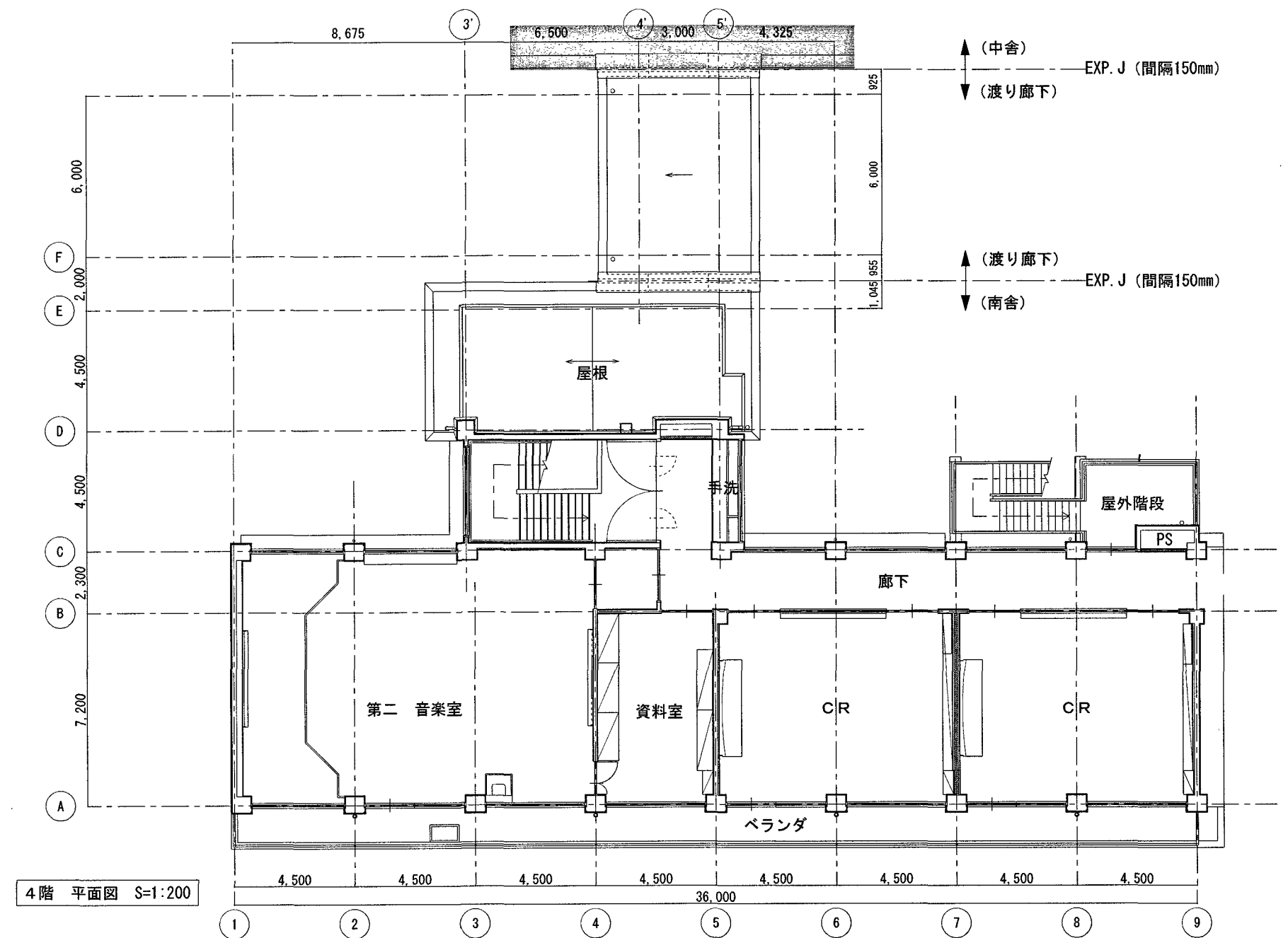
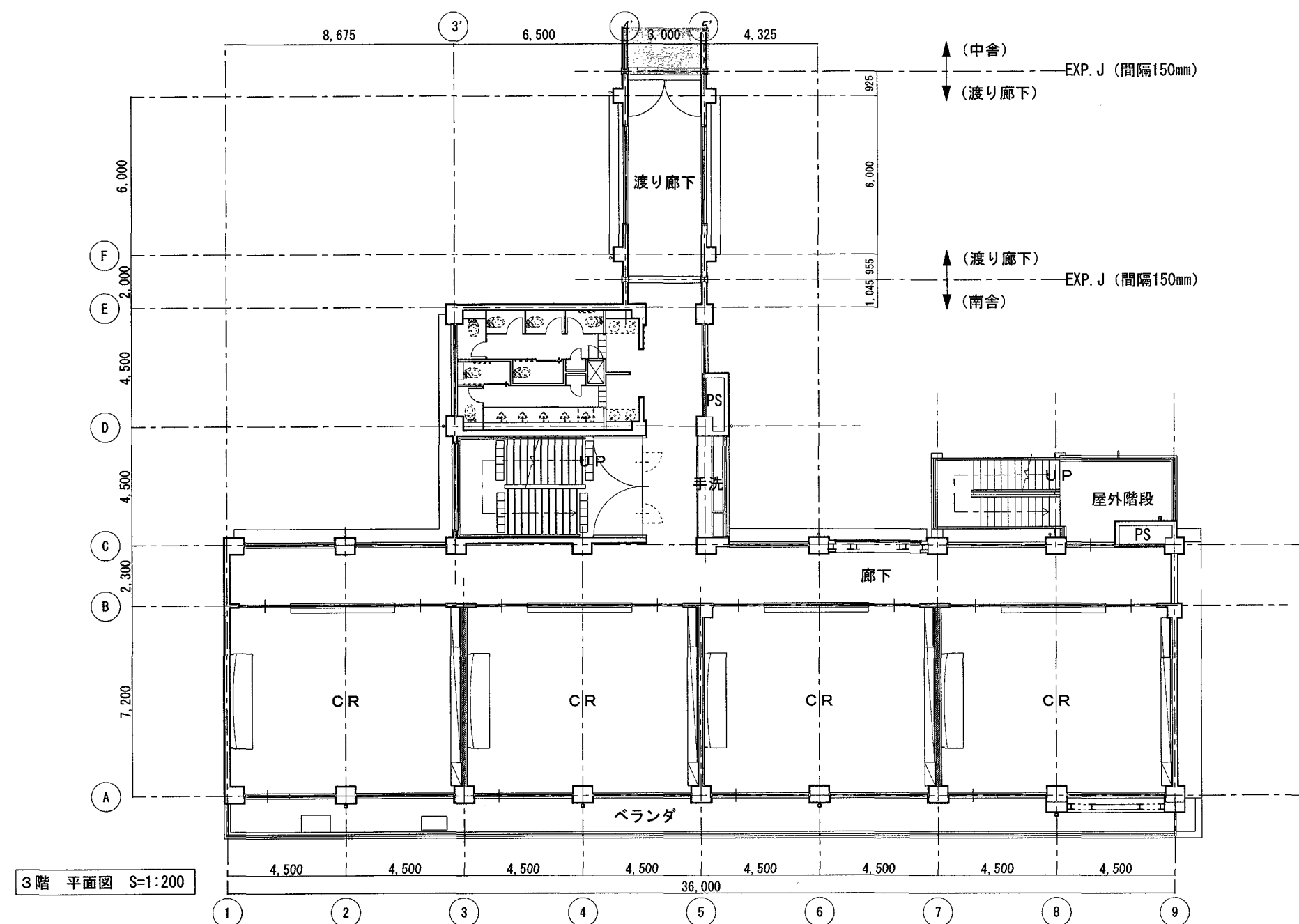
令和7年6月4日(午後)

2025年度					
校 時 表					
高知市立高須小学校					
	月	火	水	木	金
予鈴	8:20				
朝学活 集会	朝学活		8:25 ~ 8:35 全校朝会 学年集会 児童集会 理科放送 朝学活	朝学活	
	8:35 ~ 8:50 もんじゅタイム			8:35 ~ 8:50 もんじゅタイム	
1校時	8:50 ~ 9:35				
2校時	9:45 ~ 10:30				
元気タイム	10:30 ~ 10:55 (予鈴10:50)				
3校時	10:55 ~ 11:40				
4校時	11:50 ~ 12:35				
給食	12:35 ~ 1:15				
自由タイム	1:15 ~ 1:30		1:15~1:30	1:15 ~ 1:30	1:15~1:30
掃除	1:30 ~ 1:45			1:30 ~ 1:45	
5校時	1:55 ~ 2:40		1:30 ~ 2:15	1:55 ~ 2:40	1:30 ~ 2:15
6校時	2:50 ~ 3:35	1~3年生 下校 2:55 委員会(5~6年) クラブ(4~5~6年) 3:00~3:45 終了後 下校	2:20 ~ 3:05	2:50 ~ 3:35	2:20 ~ 3:05
	月	火	水	木	金
授業時間	1~3年 5時間 4~6年 6時間		1年 5時間 2~6年 6時間	1~2年 5時間 3~6年 6時間	1~2年 5時間 3~6年 6時間
最終下校	4:20		3:15	4:20	3:15
※授業が終わったら、帰りの会の後、下校となります。					
※火曜日 6校時に委員会のある日は、4年生の下校時刻2:55になります。					



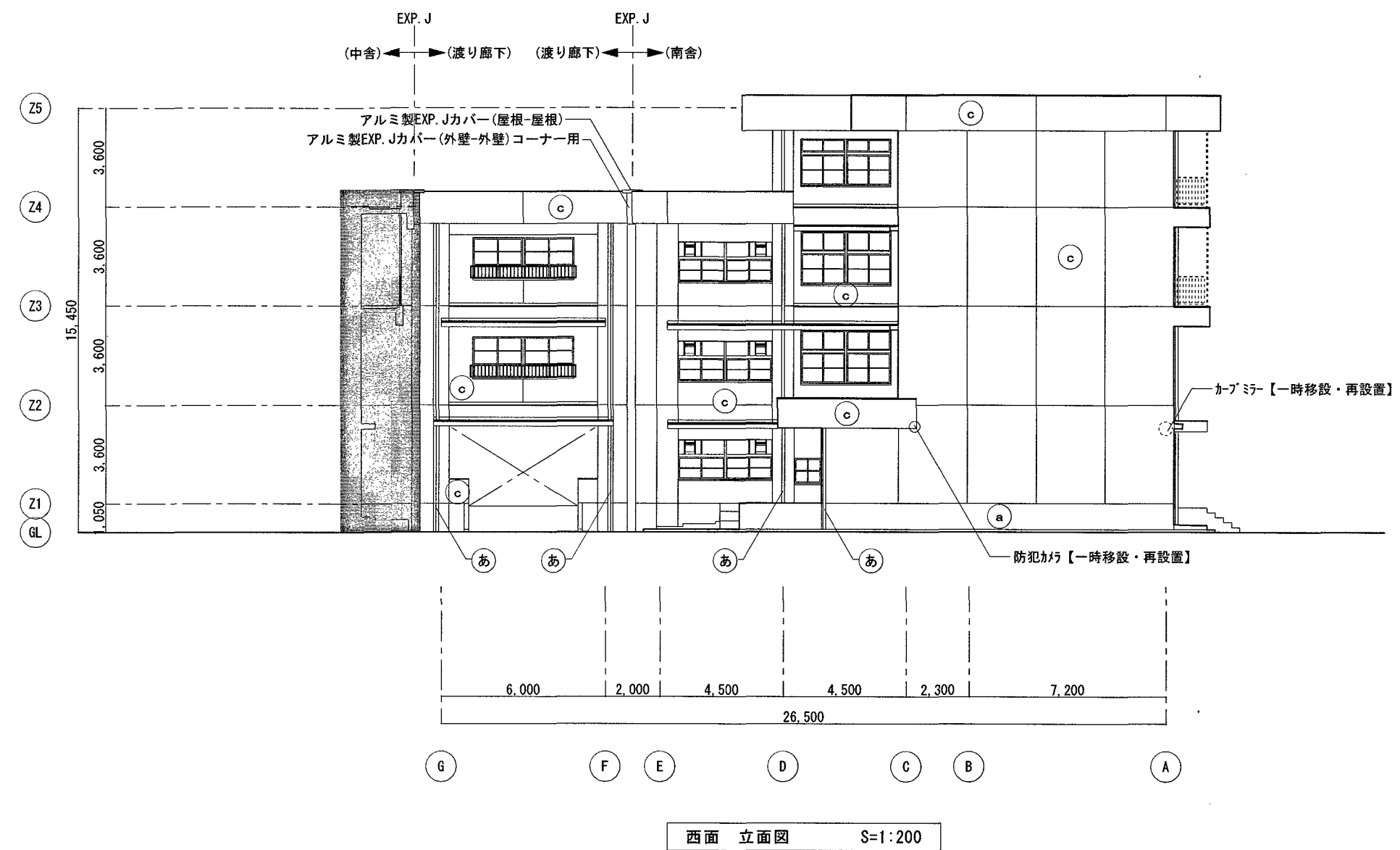
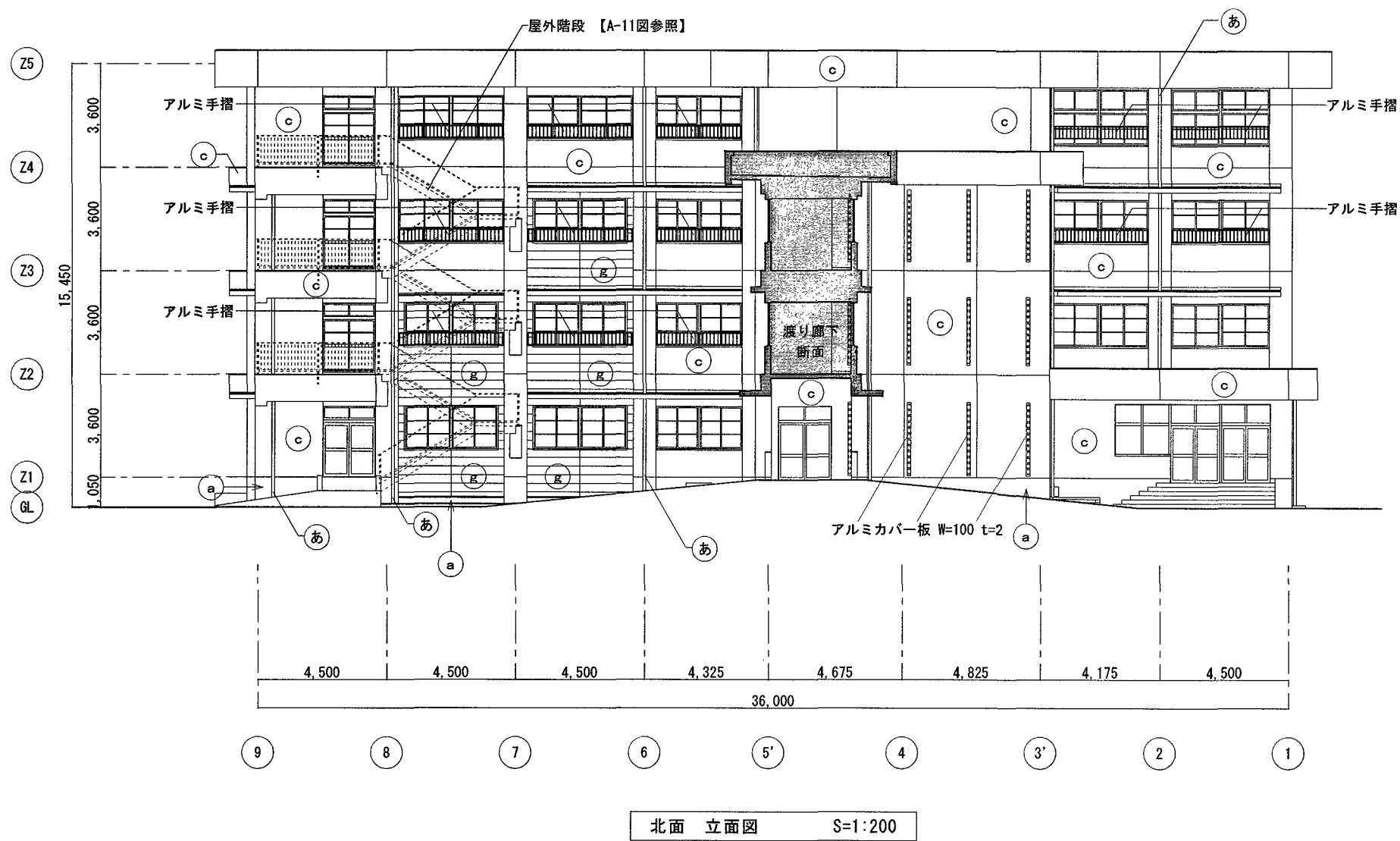
配置図 1/500





参考図 1

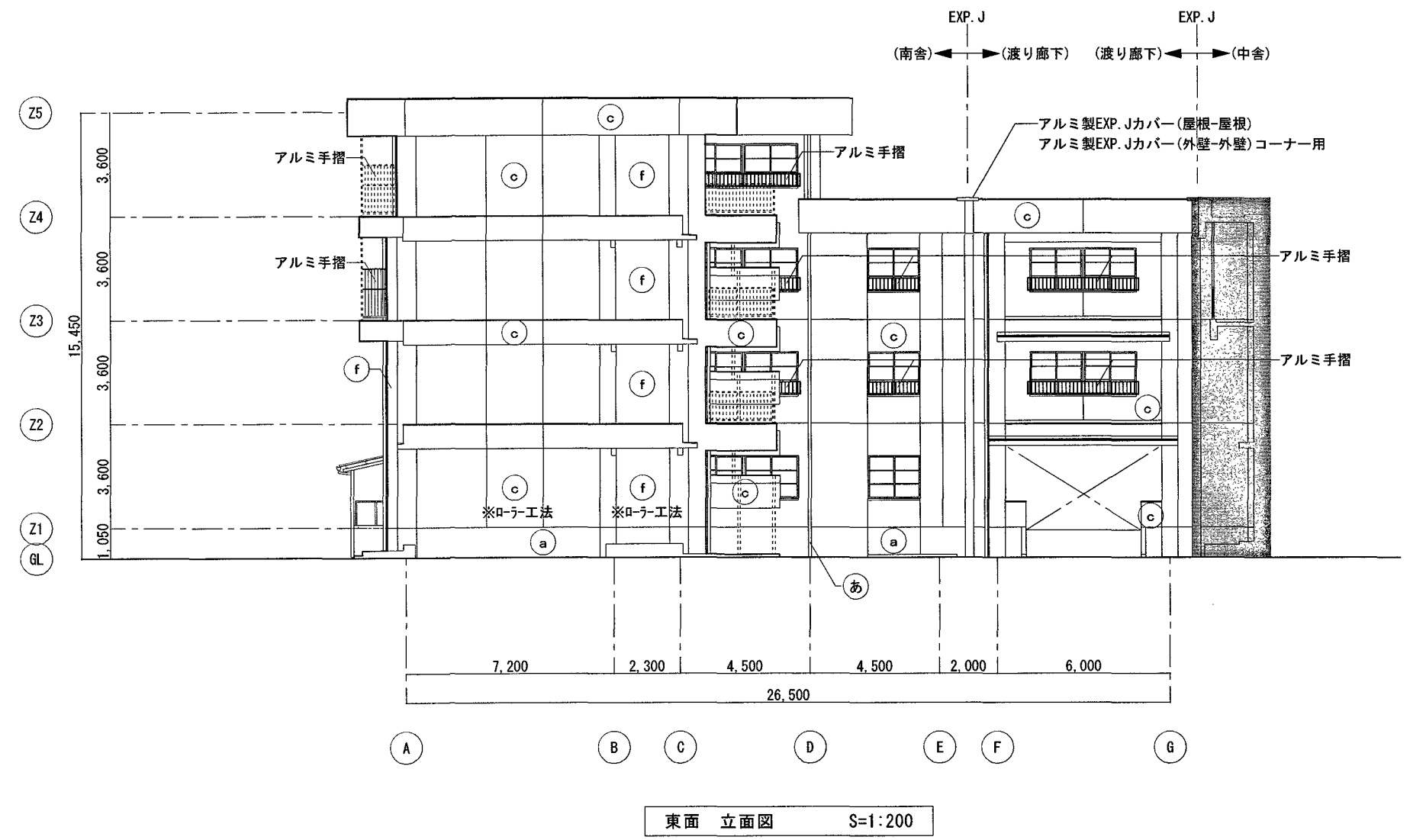
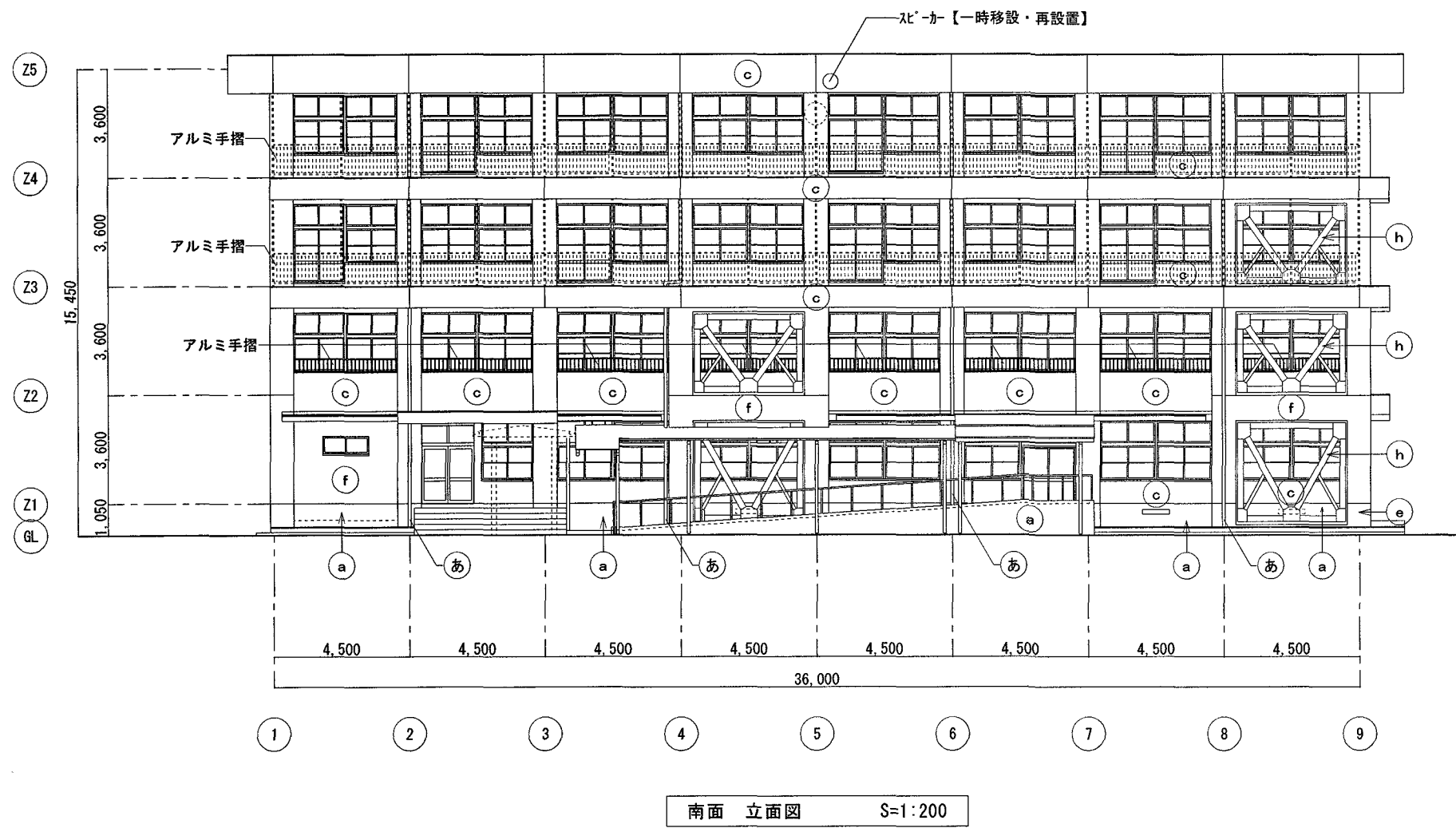
[illegible]



既存仕上表	改修後仕上表
a モルタル剛毛引	a 水洗い工法
b -----	b -----
c 複層塗材E吹付	c 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
d -----	d -----
e コンクリート打放し仕上	e 水洗い工法
f コンクリート打放し複層塗材E吹付	f 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
g 押出成形セメント板t=15 複層塗材E吹付	g 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
h プレース鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗	h 水洗い工法
あ 樋-VPφ100 DP塗(摺み金物共)	あ 既存【撤去】、カバーVPφ100 (摺み金物共)【新設】

外壁改修	合計
ひび割れ (0.2以上～1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 10.00 m
ひび割れ (1.0mm以上)	Uカット樹脂材充填工法
浮き (一般部)	注入口付アンカービッディング全面1本杉樹脂注入工法 5.00 m ²
浮き (指定部)	注入口付アンカービッディング全面1本杉樹脂注入工法 5.00 m ²
浮き (挟幅部)	注入口付アンカービッディング全面1本杉樹脂注入工法 1.00 m
欠損	充填工法 (1本杉樹脂モルタル)

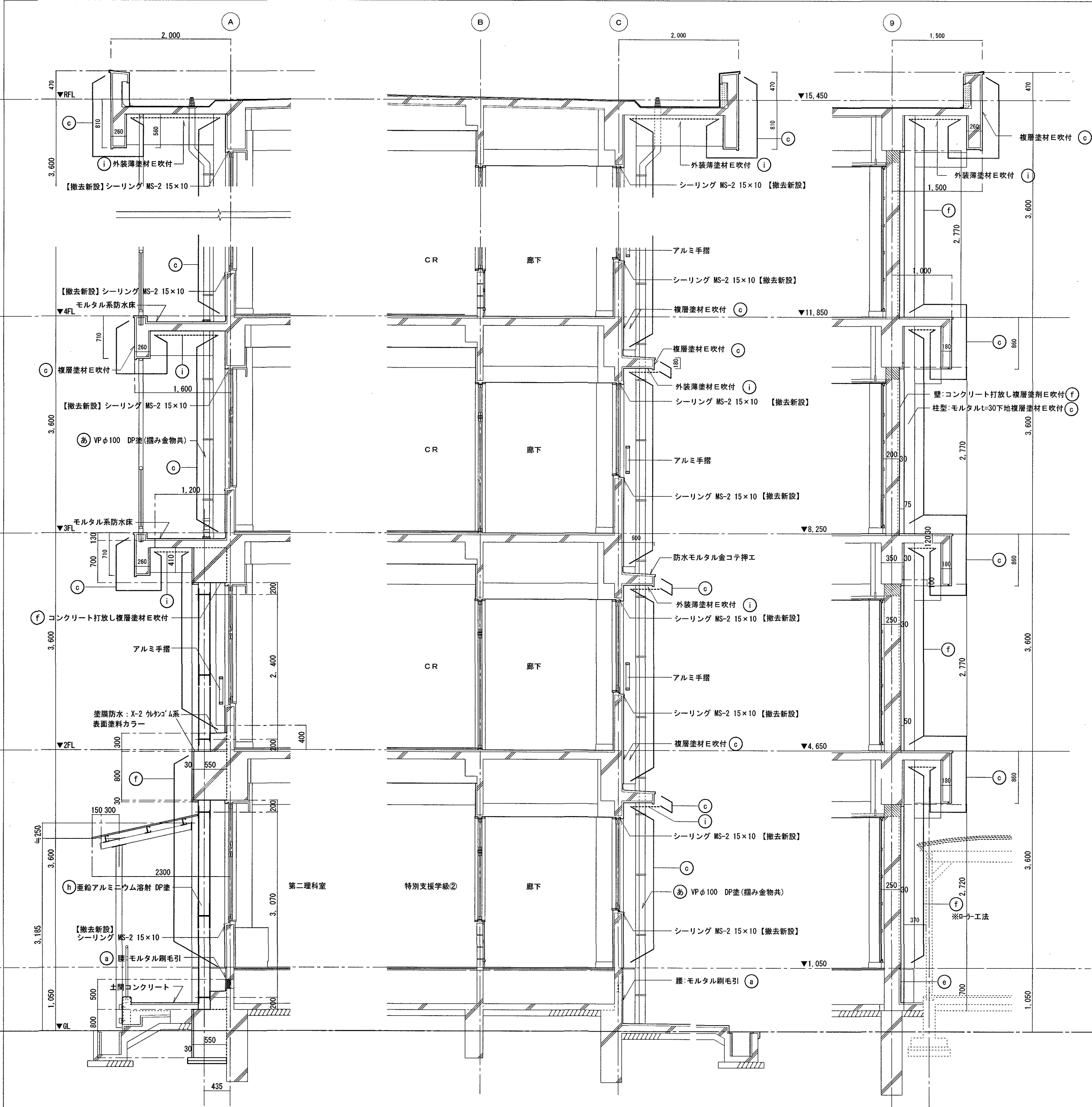
- ※ 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
- ※ (g) , EXP. Jカバー、アルミカバー板及び 部は、施工数量調査範囲外とする。
- ※ 外壁面既存サッシ廻りシリリング打替え MS-2(15×10)二重水切り共
- ※ 目地シリリング打替え MS-2(15×15)たてよこ共



既存仕上表	改修後仕上表
a モルタル刷毛引	a 水洗い工法
b -----	b -----
c 複層塗材E吹付	c 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
d -----	d -----
e コンクリート打放し仕上	e 水洗い工法
f コンクリート打放し複層塗材E吹付	f 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
g 押出成形セメント板t=15 複層塗材E吹付	g 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
h プレース鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗	h 水洗い工法
あ 樋-VPφ100 DP塗(掴み金物共)	あ 既存【撤去】、カ-VPφ100 (掴み金物共) 【新設】

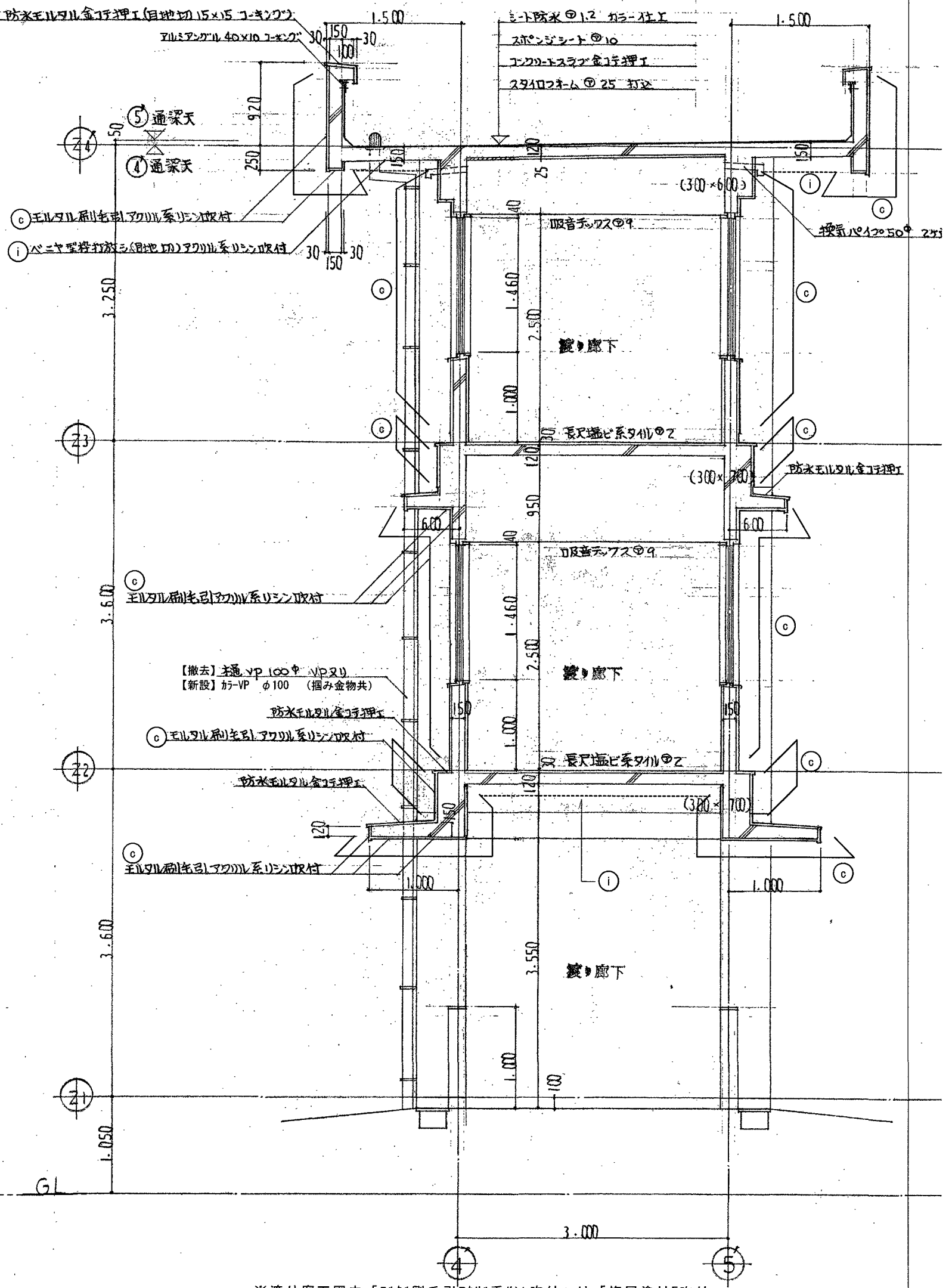
外壁改修	
ひび割れ (0.2以上~1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
ひび割れ (1.0mm以上)	Uカット材充填工法
浮き (一般部)	注入口付アノカービ-ソング'全面I'杉樹脂注入工法
浮き (指定部)	注入口付アノカービ-ソング'全面I'杉樹脂注入工法
浮き (狭幅部)	注入口付アノカービ-ソング'全面I'杉樹脂注入工法
欠損	充填工法 (I'杉樹脂モルタル)

※ (g) , IEXP.Jカバー、アルミカバー板及び 部は、施工数量調査範囲外とする。
※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング 打替え MS-2(15×10)二重水切り共
※ 目地シーリング 打替え MS-2(15×15)たてよ共



既存仕上表	改修後仕上表
a モルタル刷毛引	a 水洗い工法
b -----	b -----
c 複層塗材 E 吹付	c 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材 E
d -----	d -----
e コンクリート打放し仕上	e 水洗い工法
f コンクリート打放し複層塗材 E 吹付	f 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材 E
g 押出成形セメント板 t=15 複層塗材 E 吹付	g 水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材 E
h ブレース鉄部: 亜鉛アルミニウム溶射 DP 塗	h 水洗い工法
i 外装薄塗材 E 吹付	i 水洗い工法のうえ、外装薄塗材 E
あ 樋-VP φ100 DP 塗 (掴み金物共)	あ 既存【撤去】、か-VP φ100 (掴み金物共) 【新設】

※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング 打替え MS-2 (15×10) 二重水切り共
※ 目地シーリング 打替え MS-2 (15×15) たてよこ共



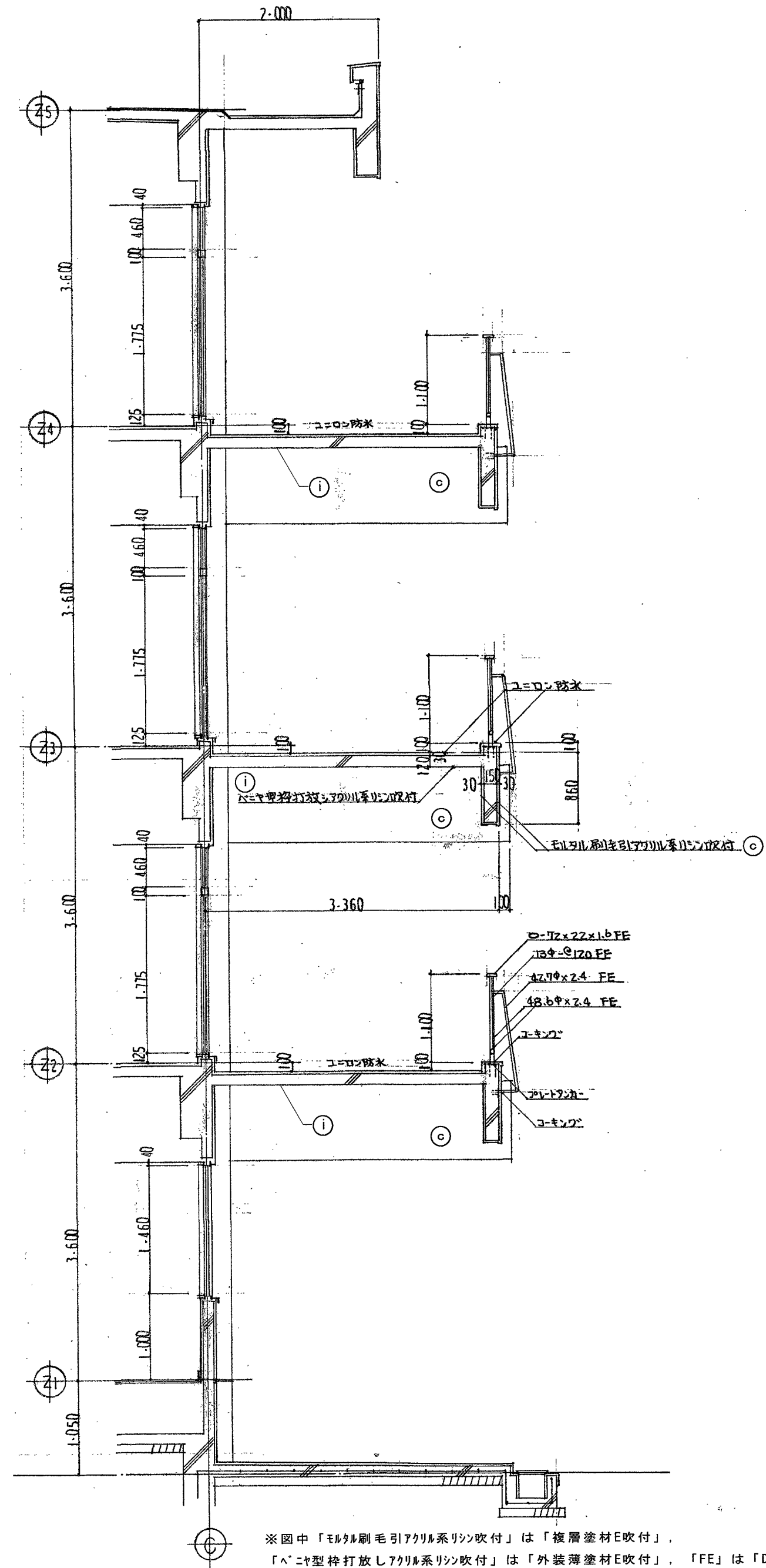
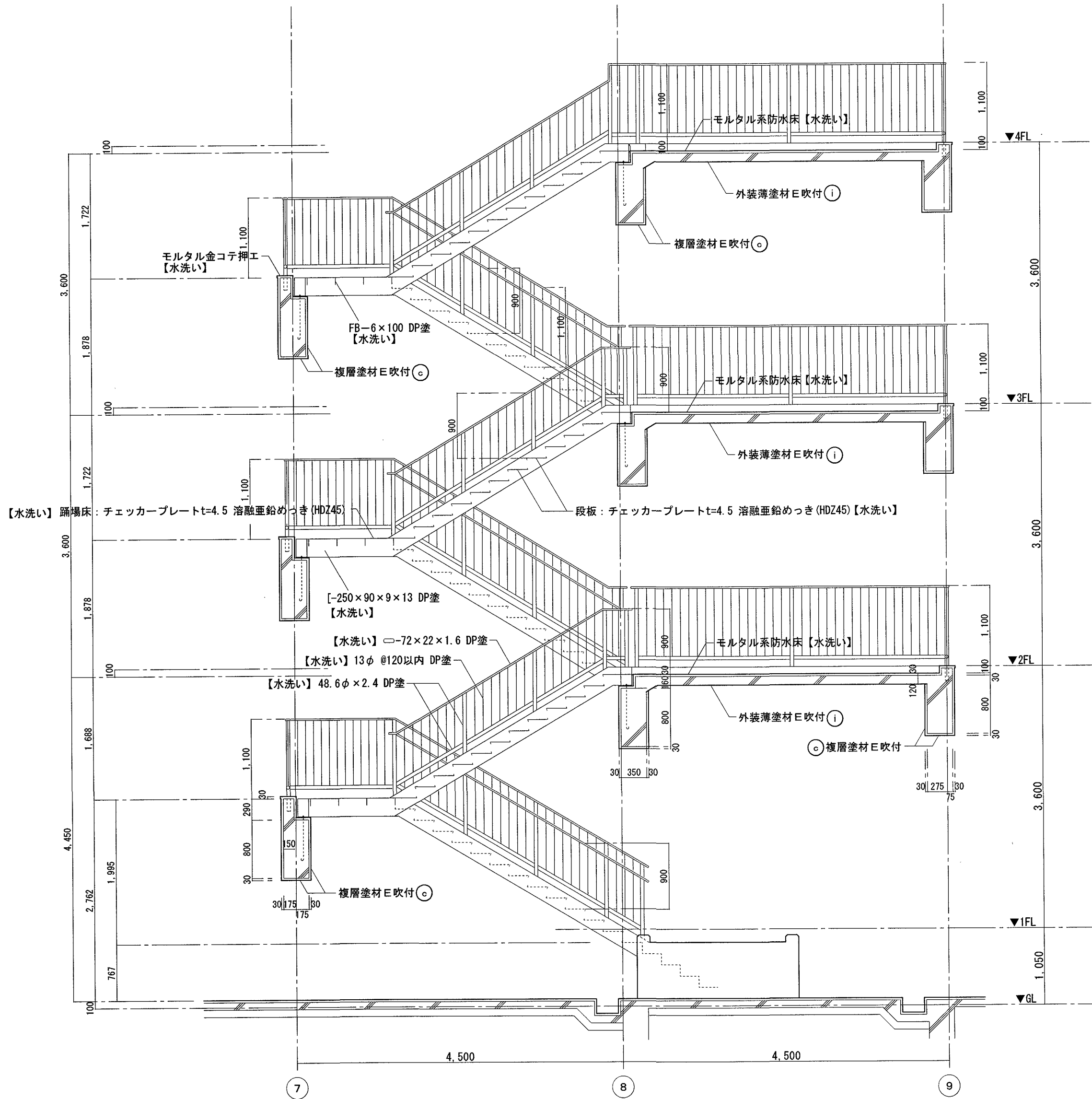
※ 渡り廊下図中「モルタル刷毛引/アクリル系リシン吹付」は「複層塗材 E 吹付」、
「ベニヤ型枠打放し/アクリル系リシン吹付」は「外装薄塗材 E 吹付」と読み替える。

※ 仕上表記号及び、【撤去新設】の記載がないものは既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工 事 名	高須小学校南舎外壁改修工事
図 面 名	短計図
縮 尺	1 / 50
係	和 田
係 長	田 中
課 長 補 佐	清 口
課 長	木 村
図 面 番 号	A-10
作 図	令和 7 年 4 月 日

既存仕上表		改修後仕上表	
a	モルタル刷毛引	a	水洗い工法
b	-----	b	-----
c	複層塗材E吹付	c	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
d	-----	d	-----
e	コンクリート打放し仕上	e	水洗い工法
f	コンクリート打放し複層塗材E吹付	f	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
g	押出成形セメント板t=15 複層塗材E吹付	g	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
h	ブレース鉄部：亜鉛アルミニウム溶射 DP塗	h	水洗い工法
i	外装薄塗材E吹付	i	水洗い工法のうえ、外装薄塗材E

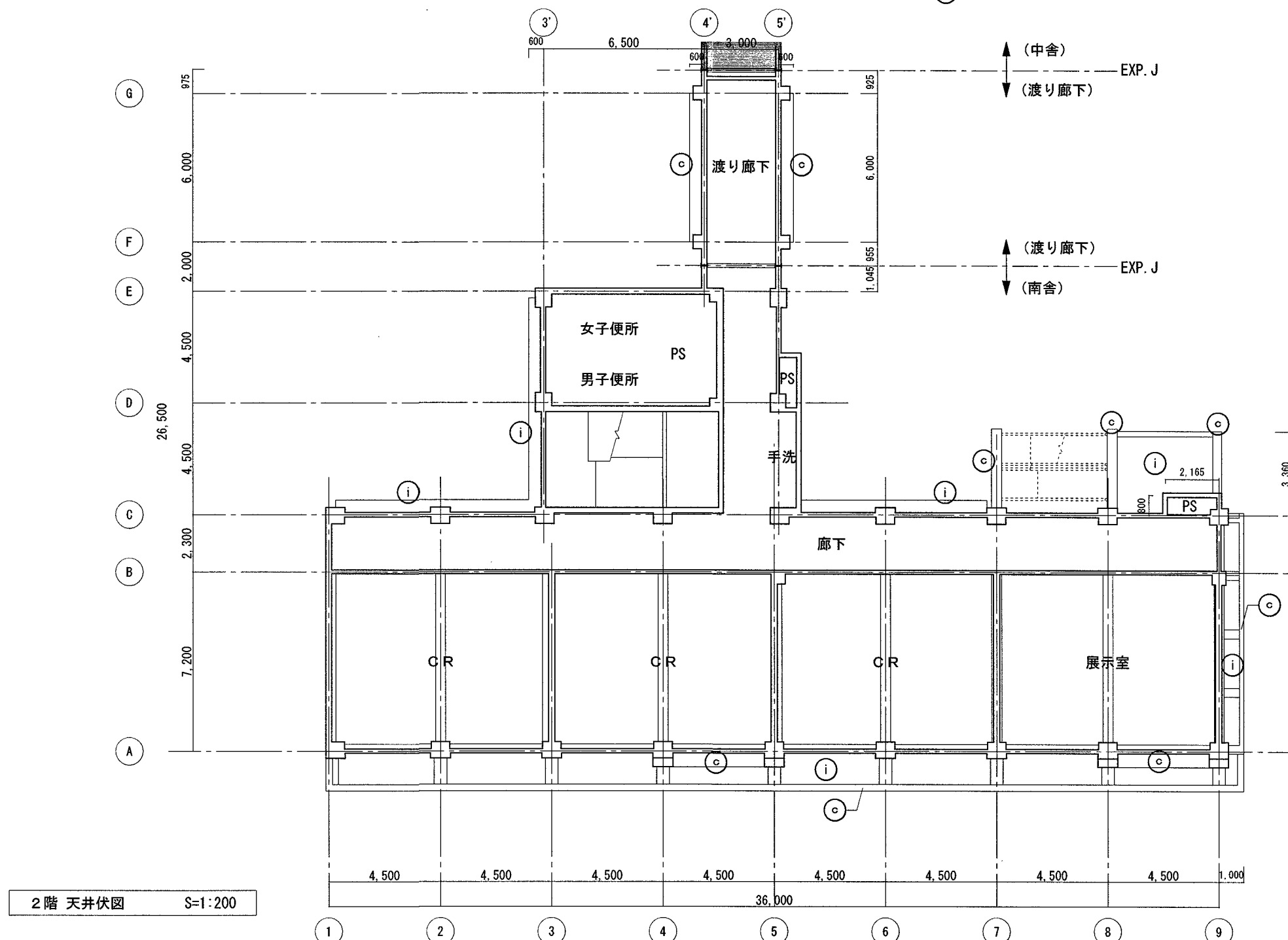
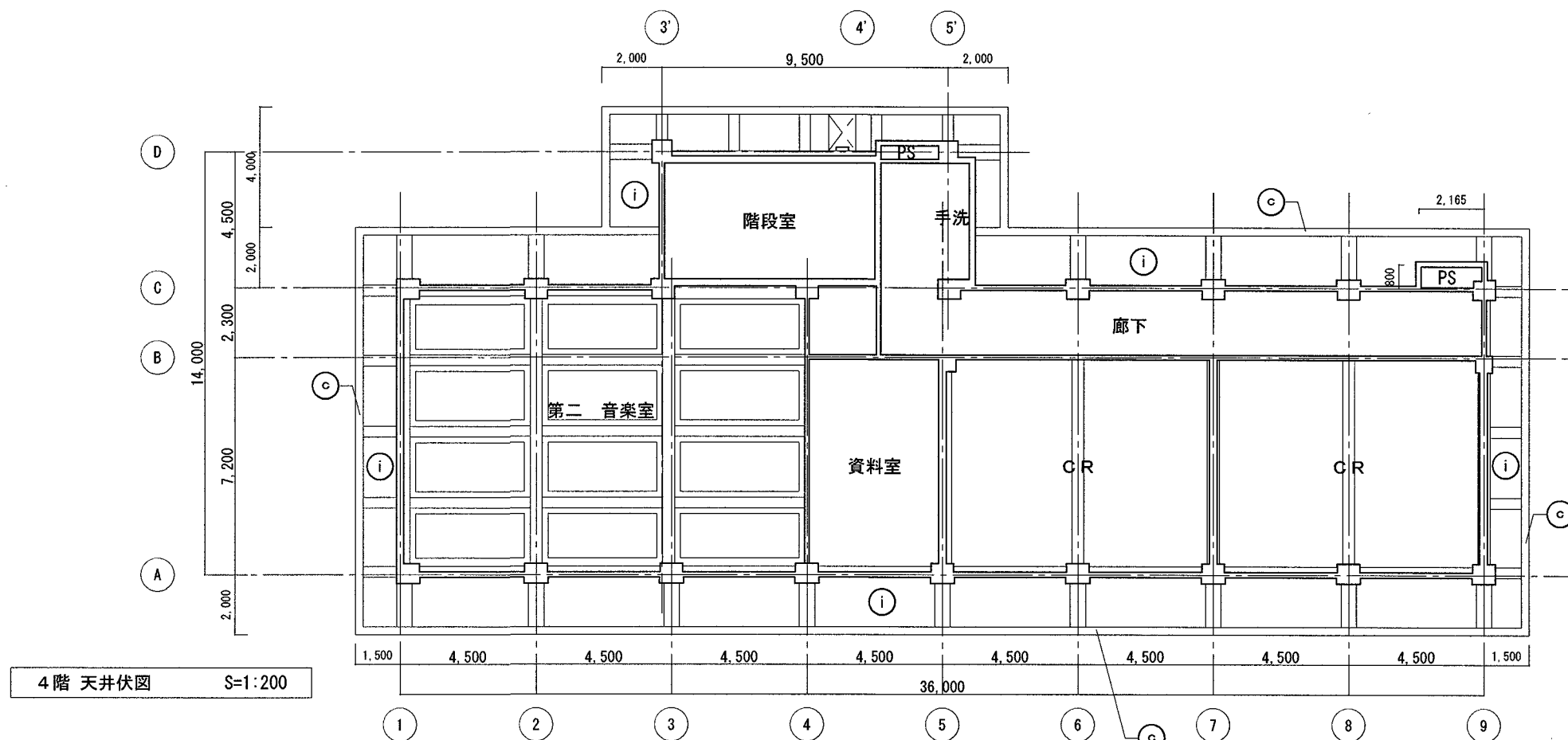
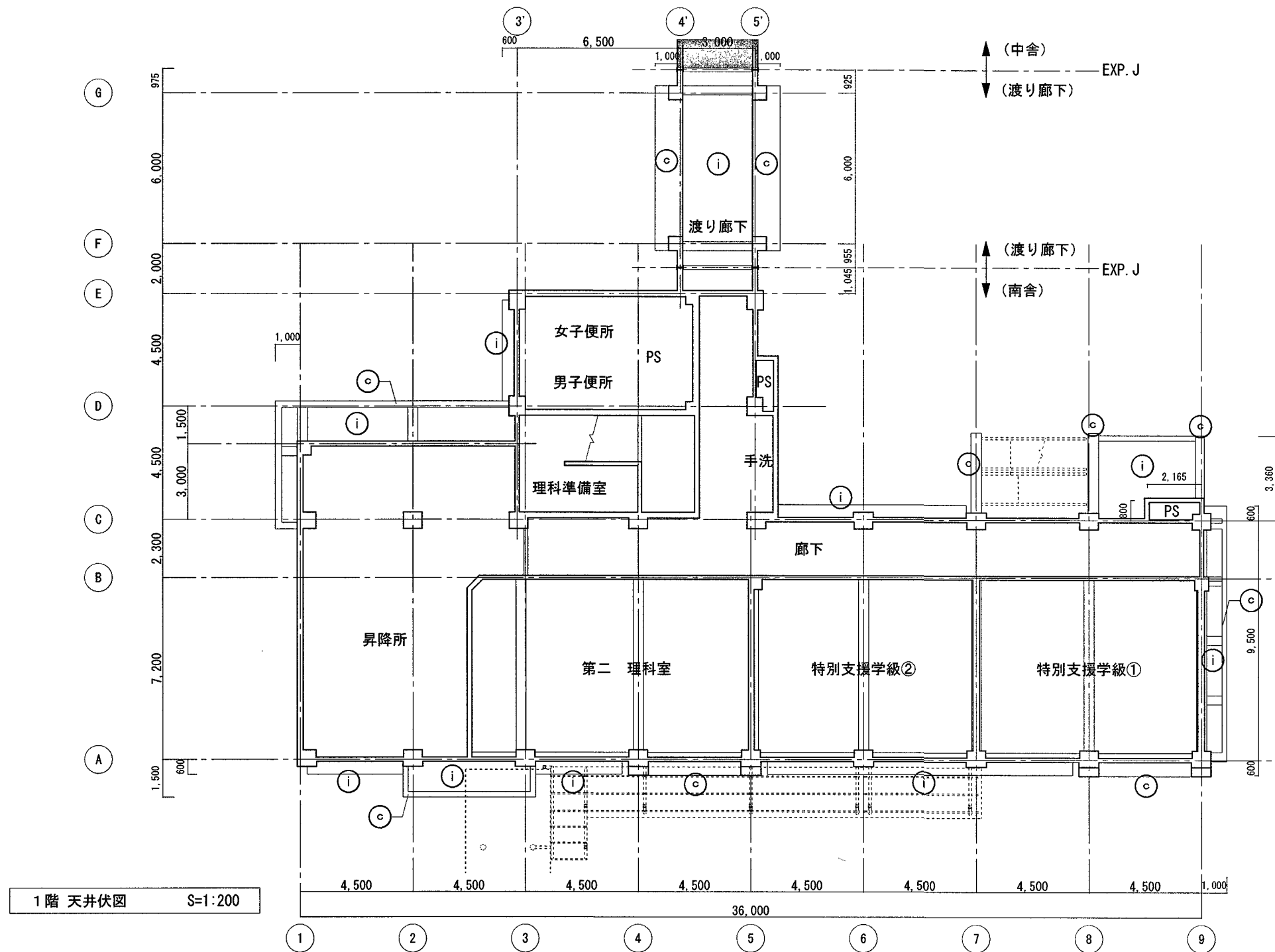
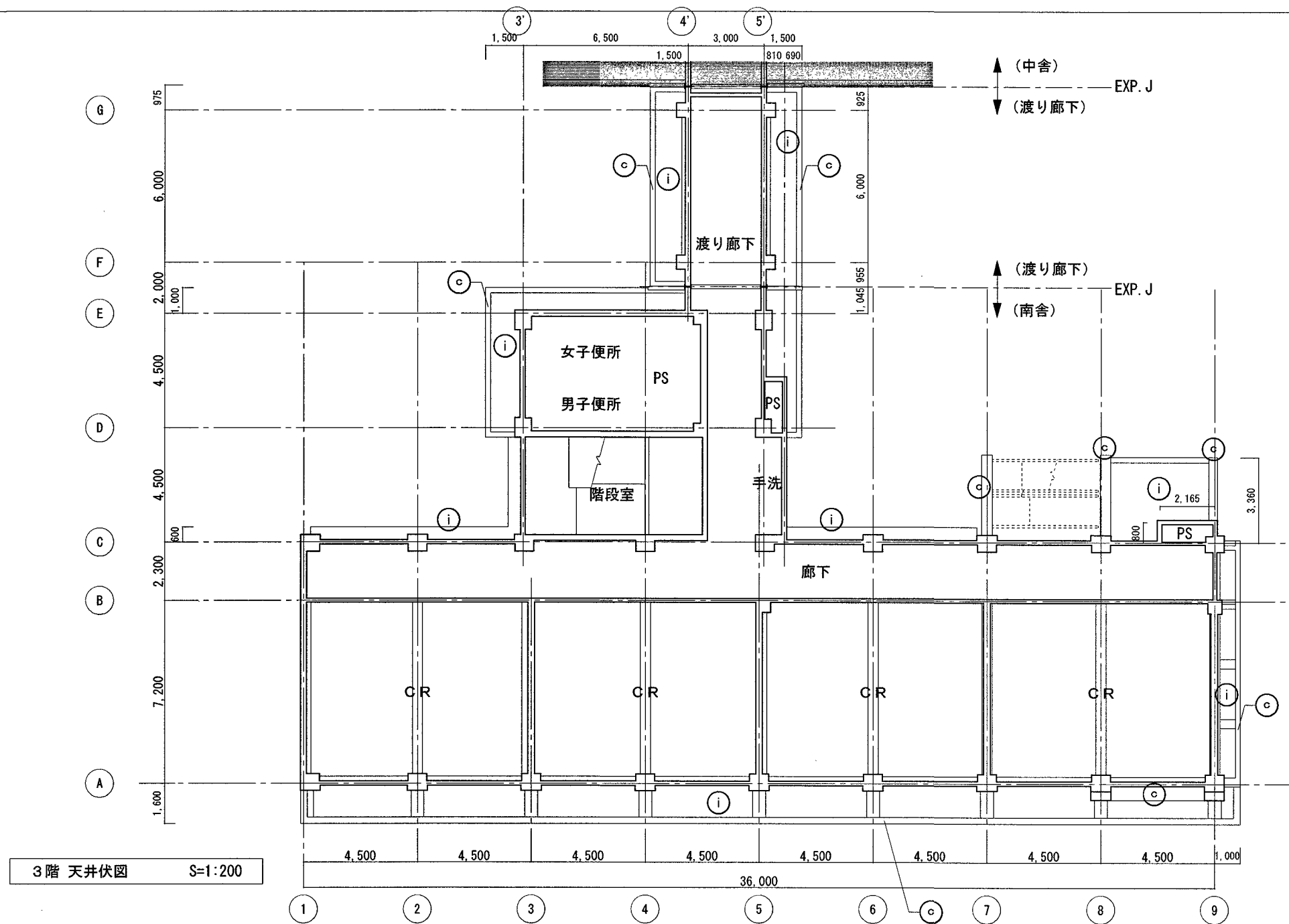


※ 図中「モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付」は「複層塗材E吹付」、
「A'ニヤ型枠打放しアクリル系リシン吹付」は「外装薄塗材E吹付」、「FE」は「DP」と読み替える。

※ 仕上表記号及び、【 文字 】の記載がないものは既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高須小学校南舎外壁改修工事		和	田	山	谷	A-11
図面名	外部階段詳細図	縮尺	1/50	作図	令和7年 4月 日	

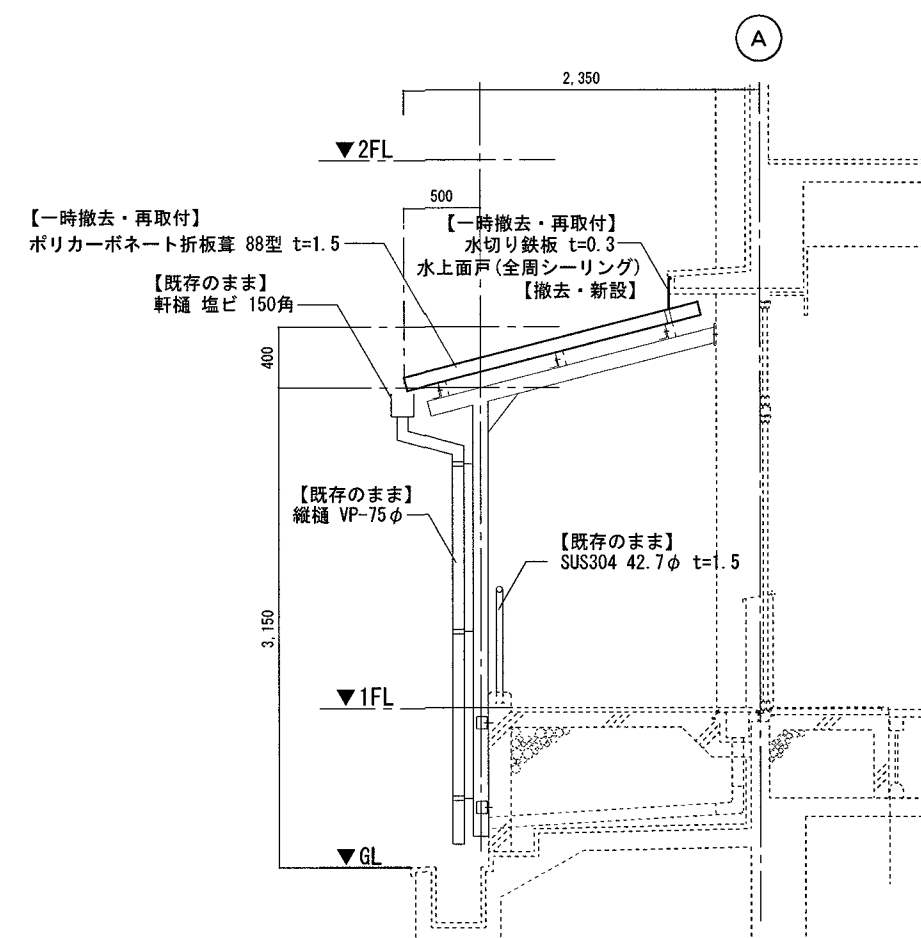
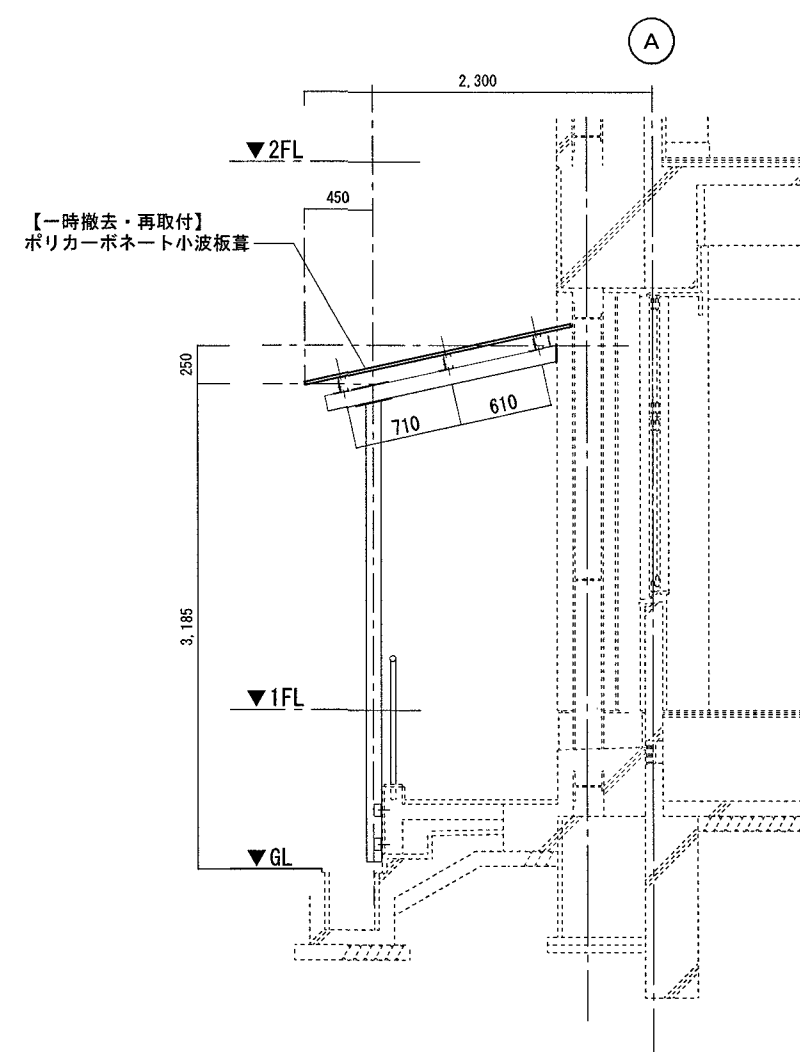
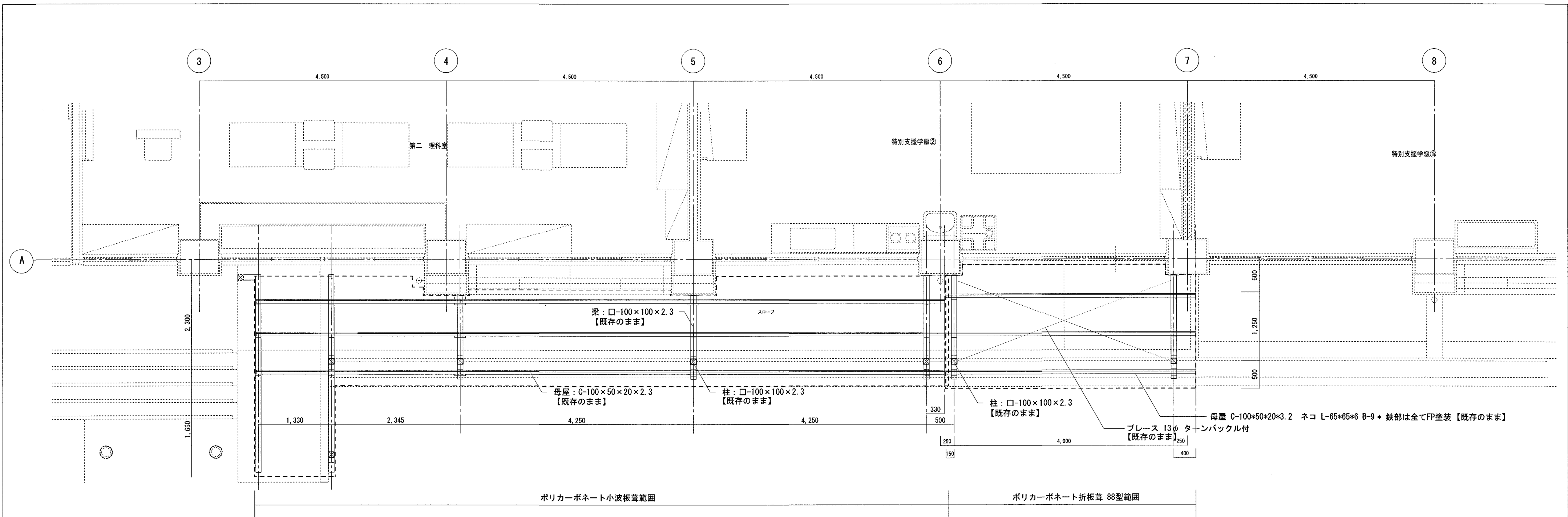


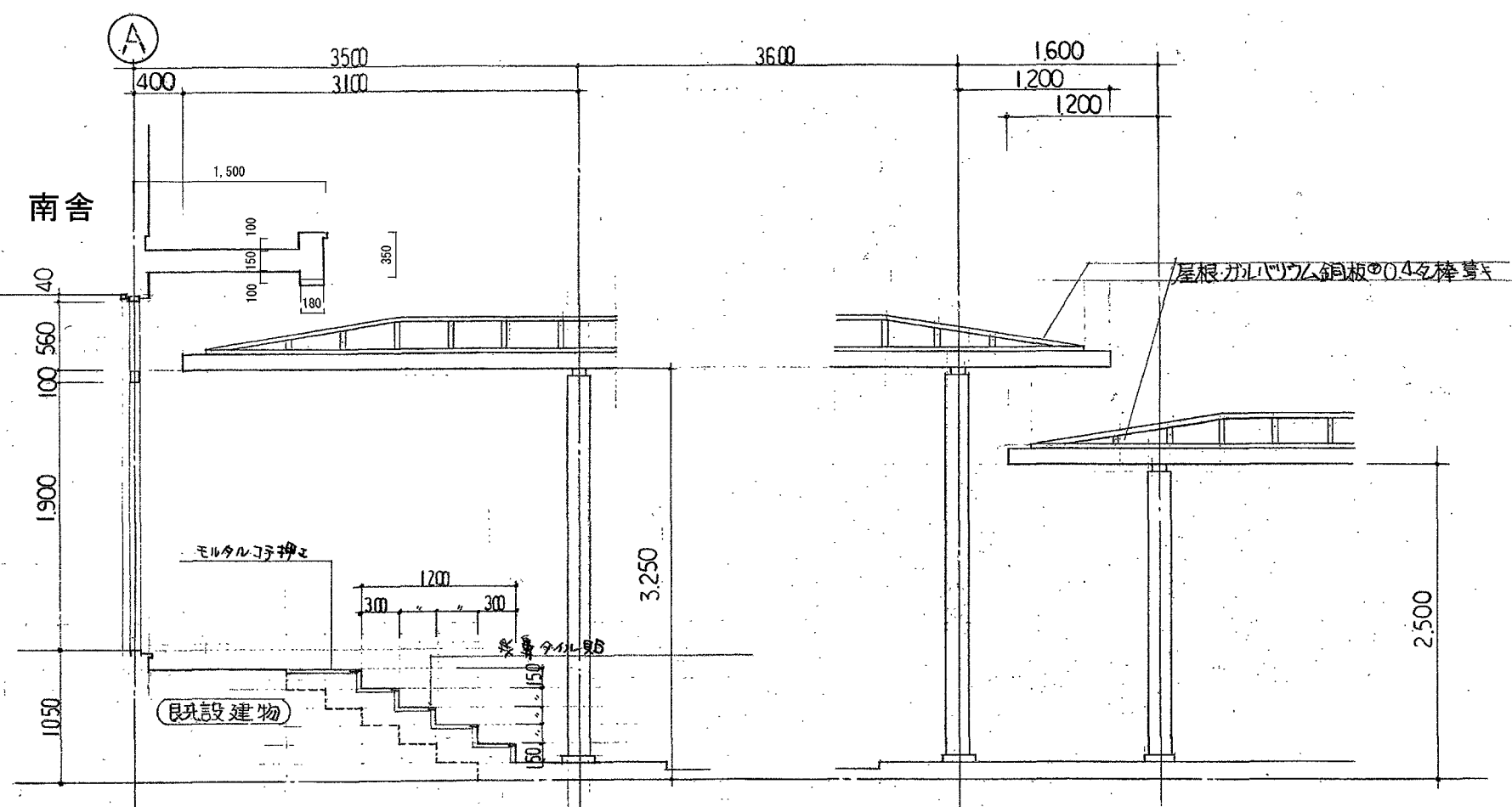
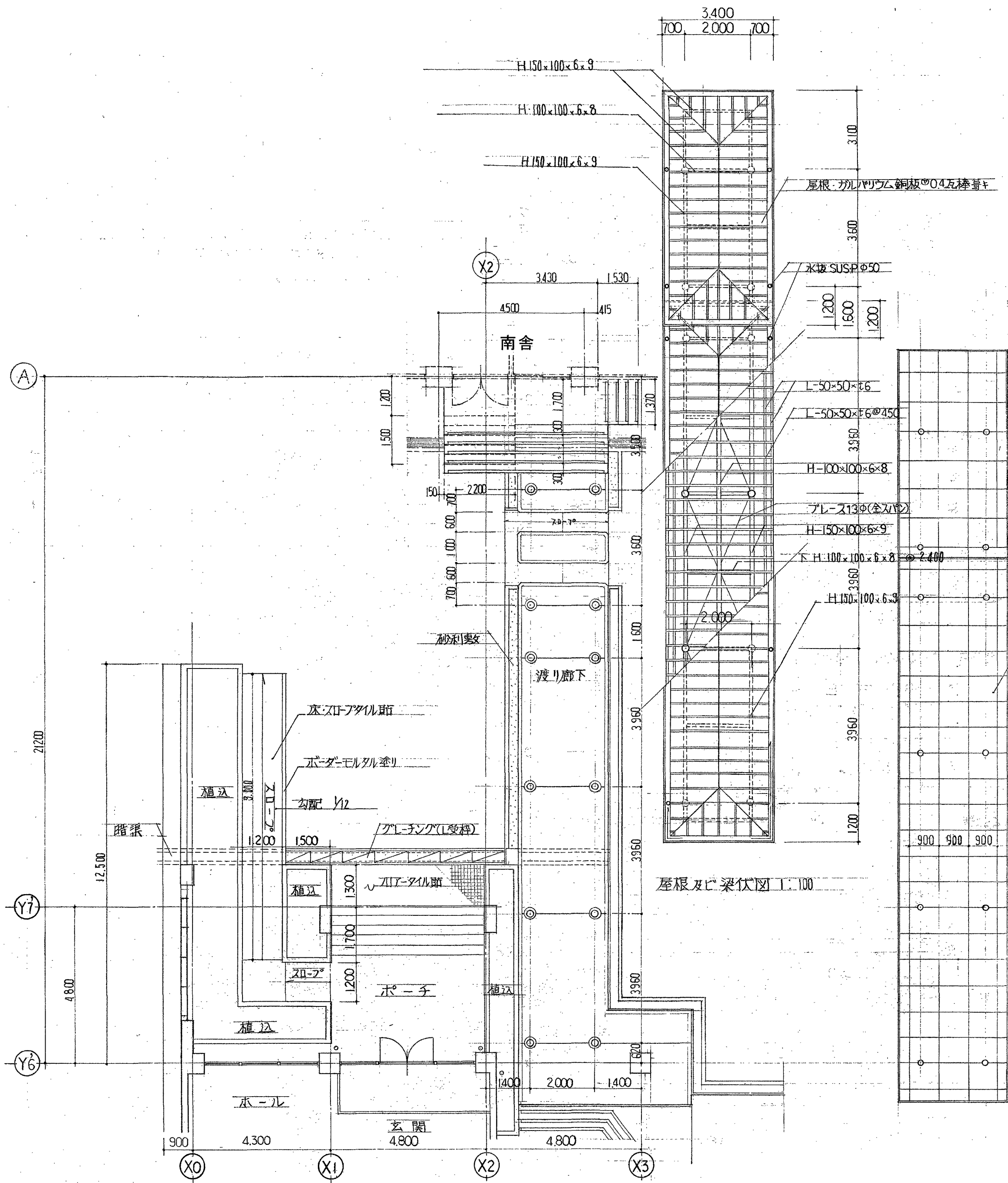
外壁改修	
ひび割れ (0.2以上～1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
ひび割れ (1.0mm以上)	ウレタン材充填工法
浮き (一般部)	注入口付アンカビ`ンニグ`全面珪`杉樹脂注入工法
浮き (指定部)	注入口付アンカビ`ンニグ`全面珪`杉樹脂注入工法
浮き (挟幅部)	注入口付アンカビ`ンニグ`全面珪`杉樹脂注入工法
欠損	充填工法 (珪`杉樹脂モルタル)

既存仕上表		改修後仕上表	
○	複層塗材E吹付	○	水洗い工法のうえ、下地調整、複層塗材E
①	外装薄塗材E吹付	①	水洗い工法のうえ、外装薄塗材E

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高須小学校南舎外壁改修工事		和田	山田	山口	木村	A-12
図面名 天井伏図		縮尺 1/200		作図 令和7年 4月 日		





既存建物取合図 1:50

天井伏図 1:100

屋根及び梁伏図 1:100

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

高須小学校南舎外壁改修工事

図面名

開放渡り廊下 1 【参考図】

縮尺

1/100 1/50

係

係長

課長補佐

課長

図面番号

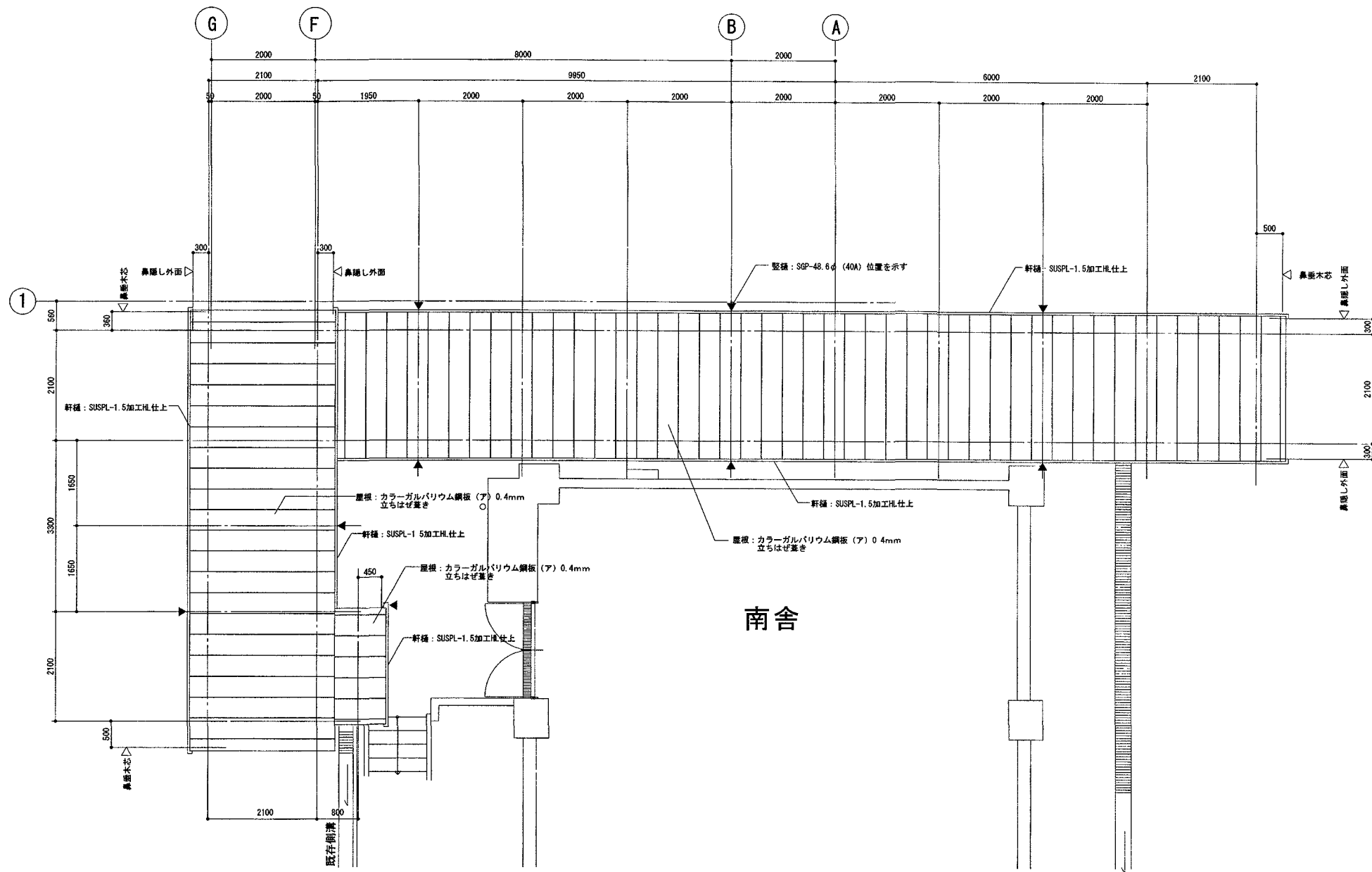
A-14

作図

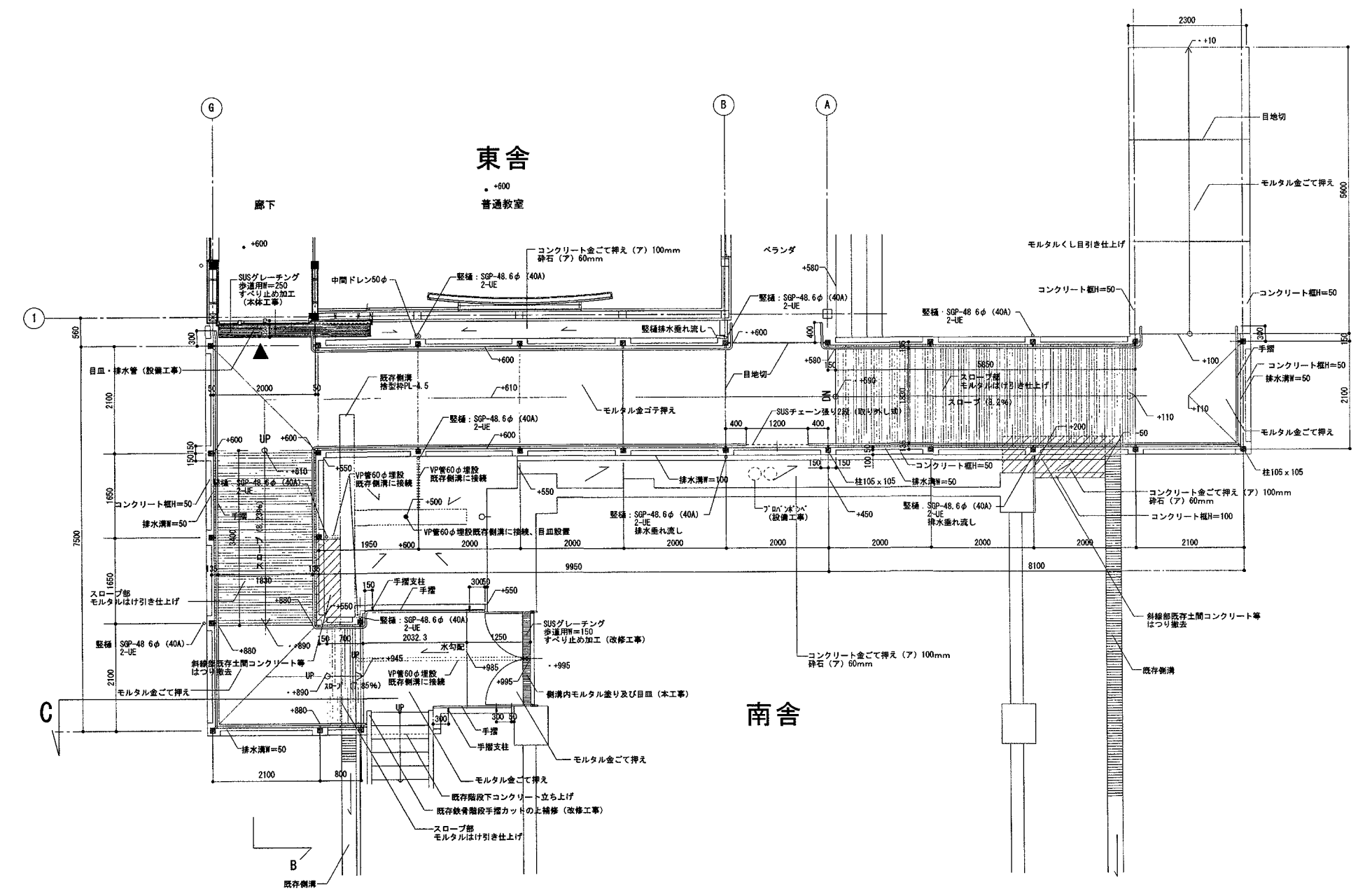
令和7年

4月

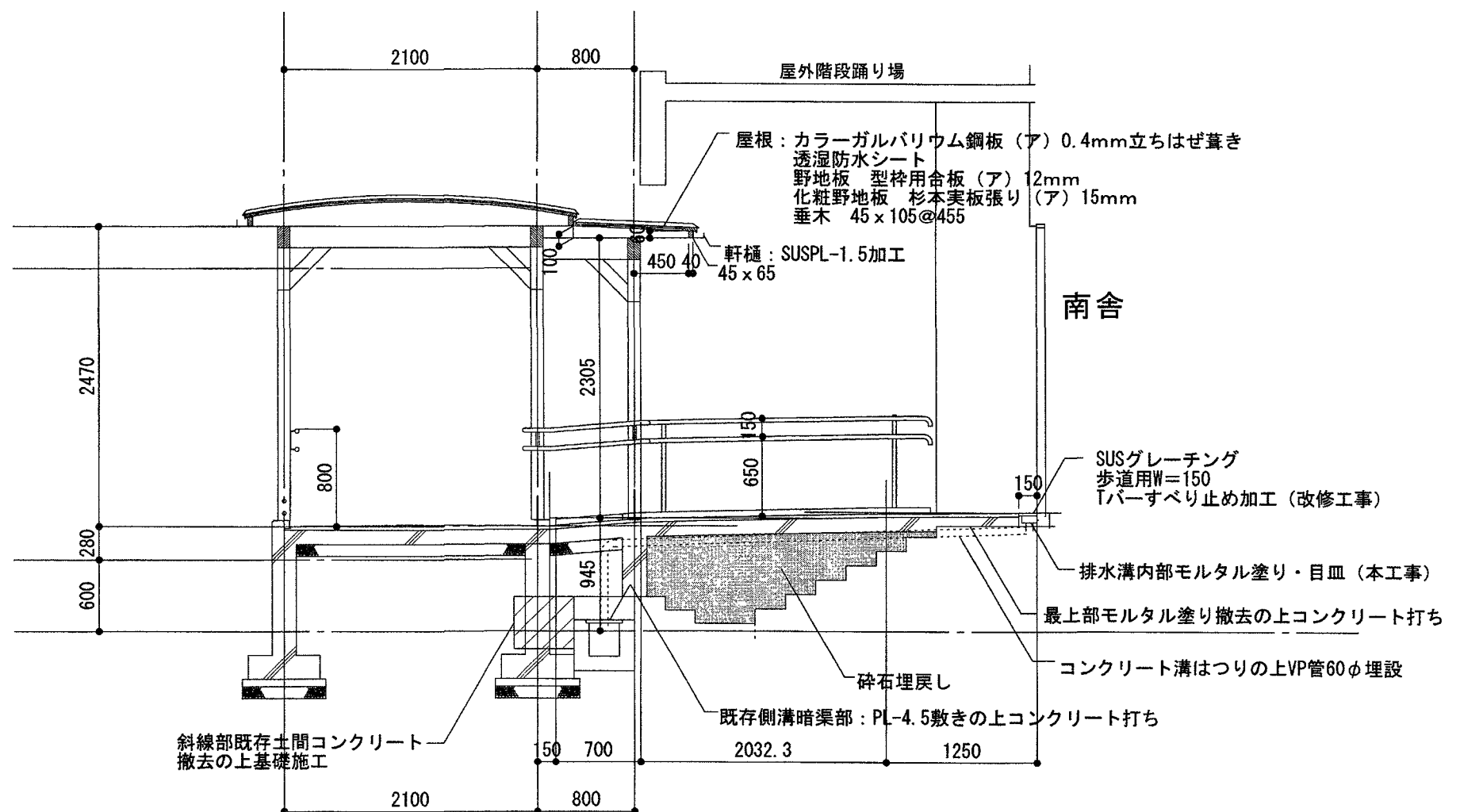
日



屋根伏図 1/100



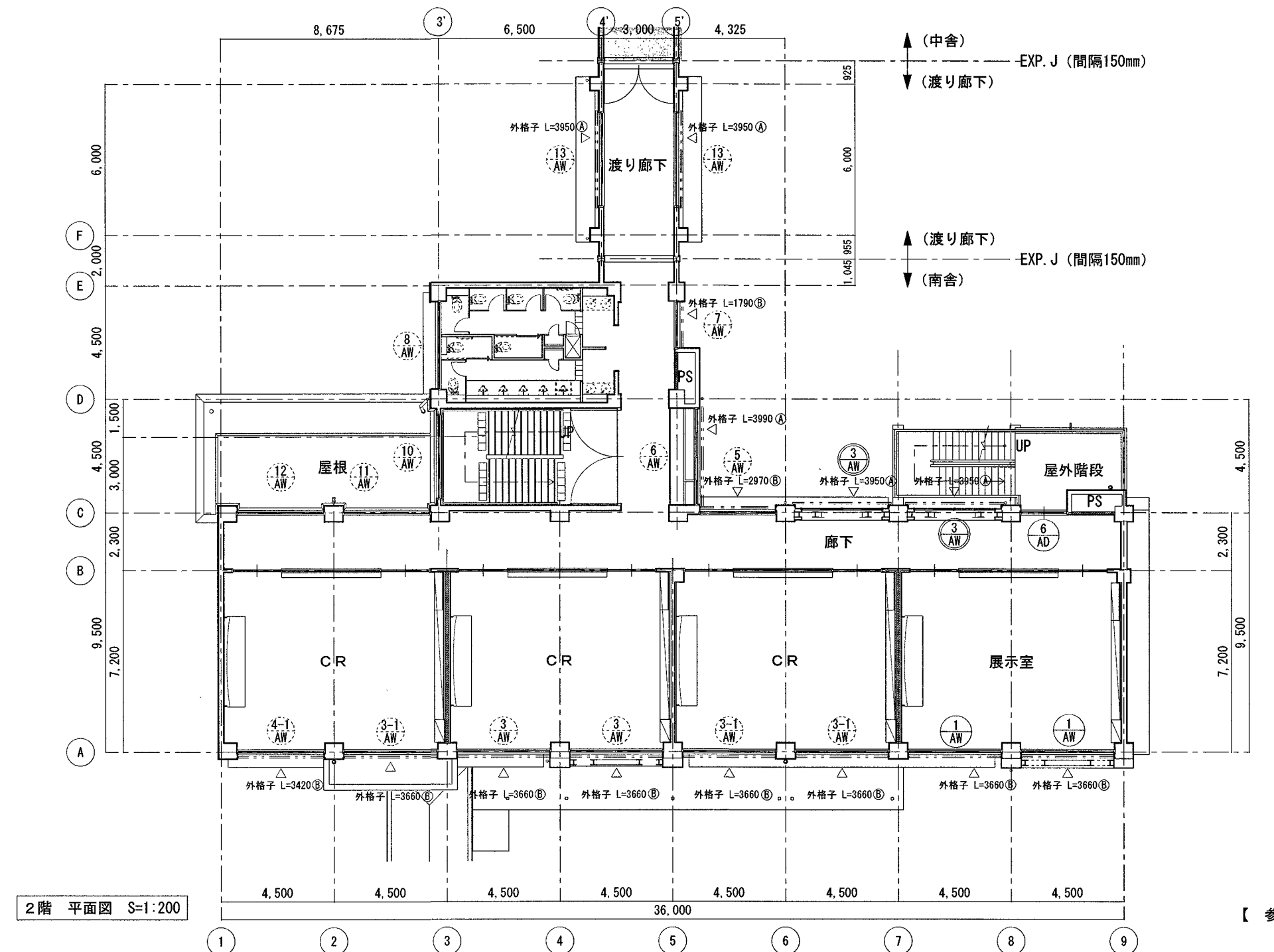
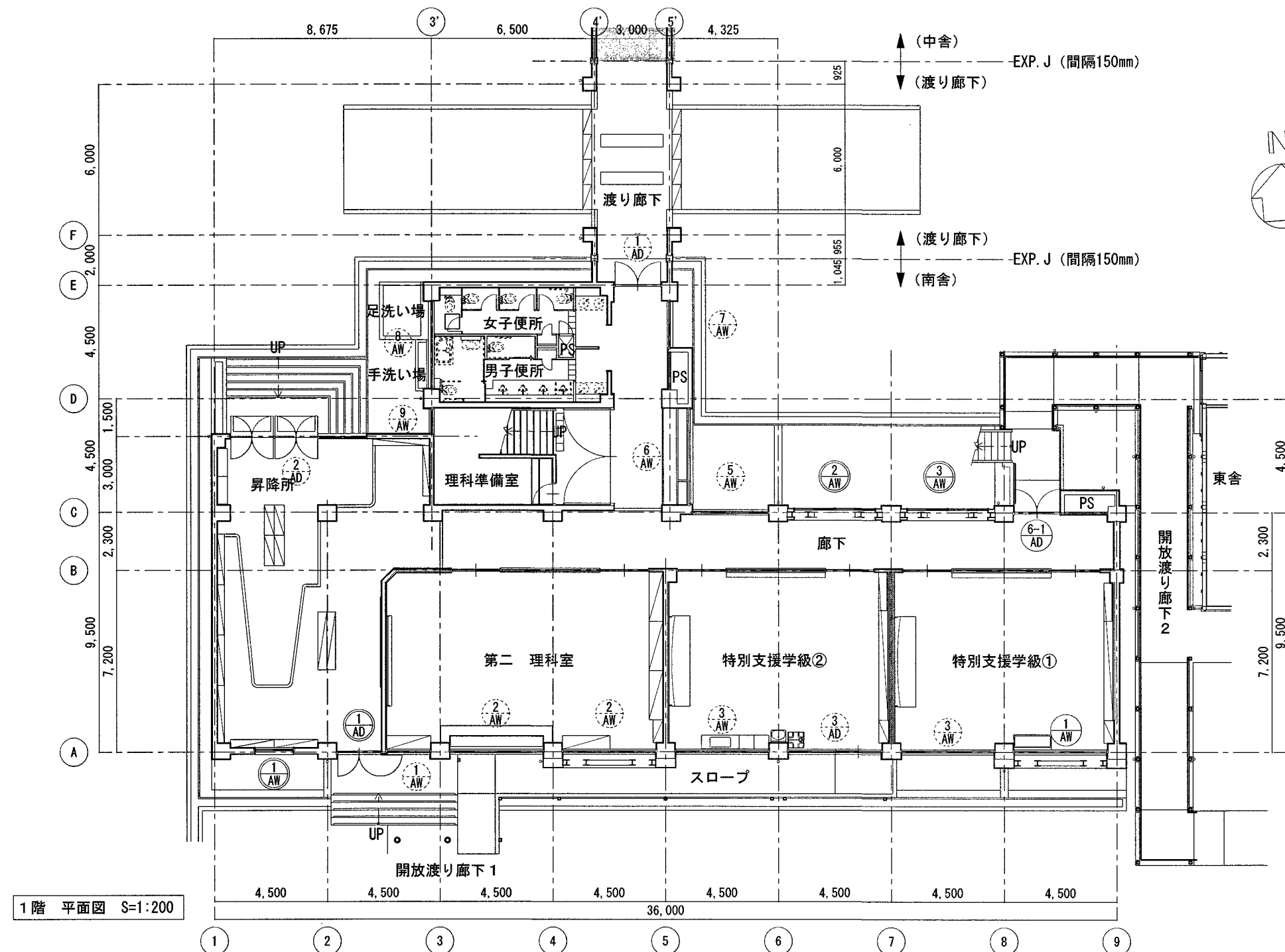
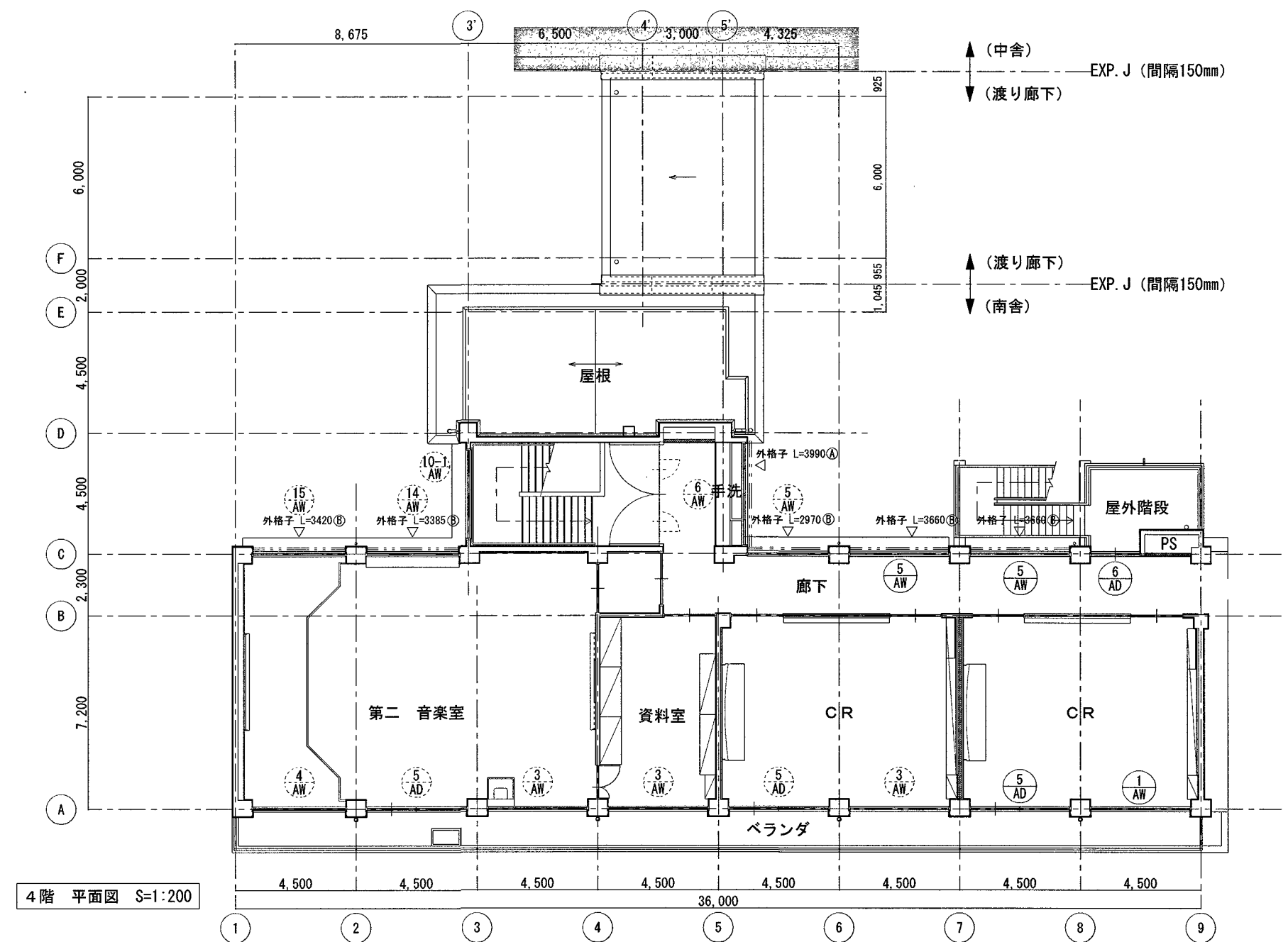
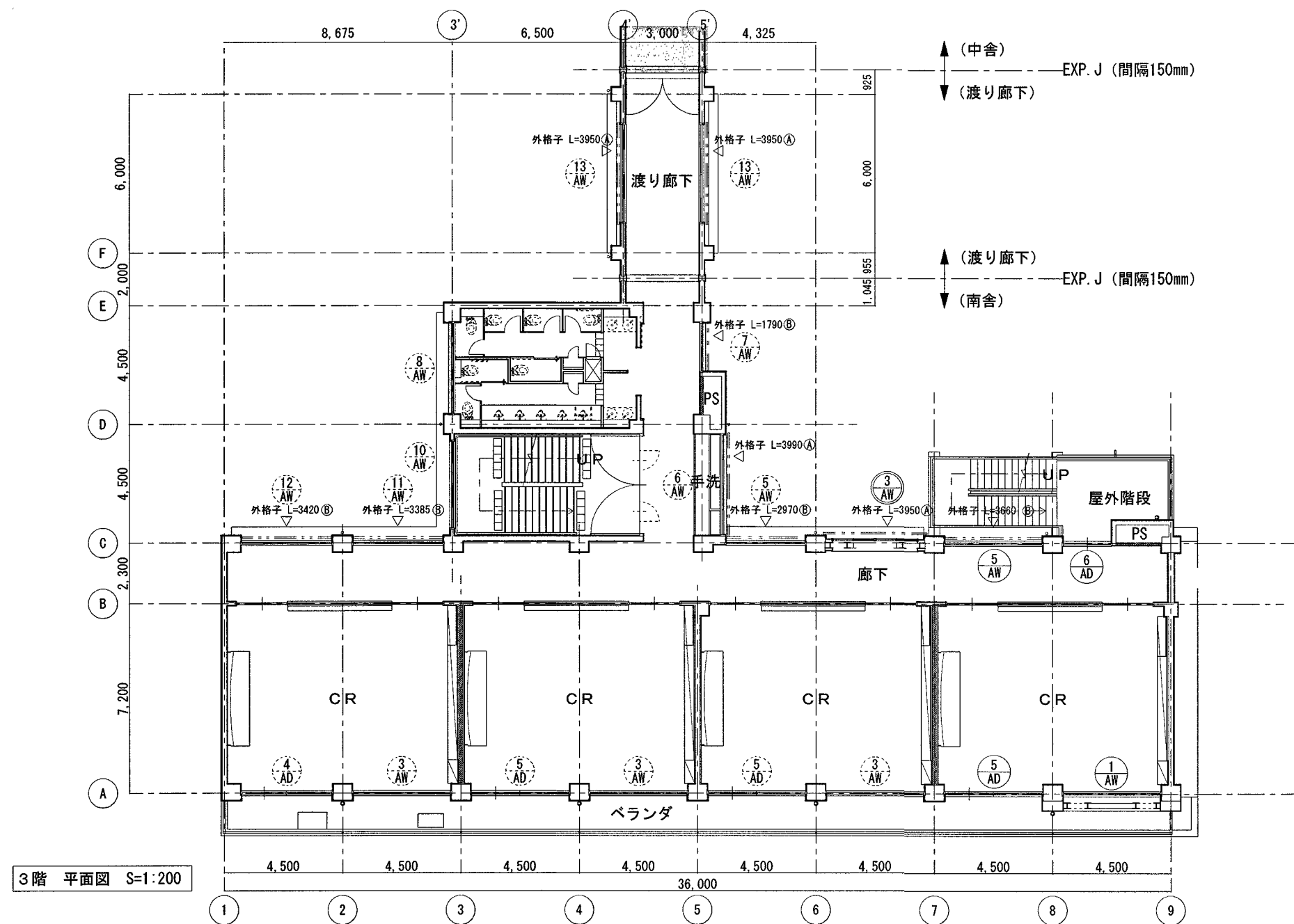
平面図 1/100



C-断面図 1:50

【 参考図 】

		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名				係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号	
			高須小学校南舎外壁改修工事								A-15	
			図 面 名 開放渡り廊下2【参考図】				縮 尺	1/100 1/50		作 図 令和7年 4月 日		

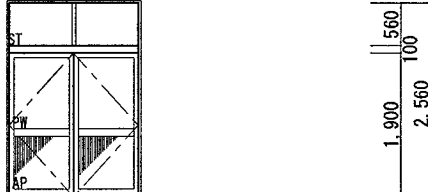
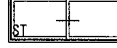
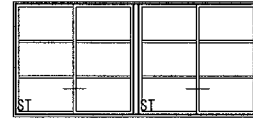
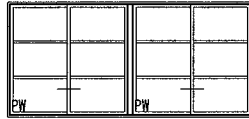
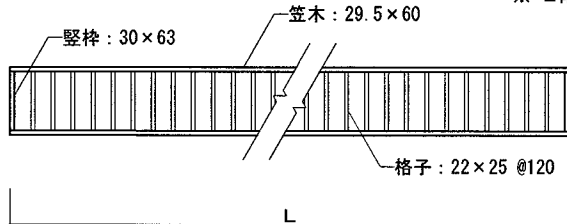
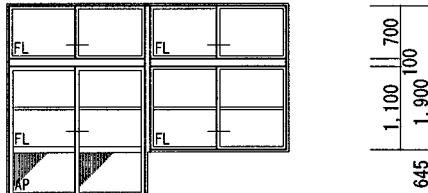
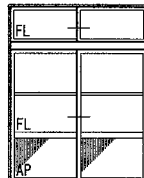
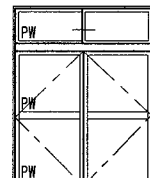
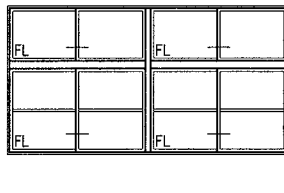
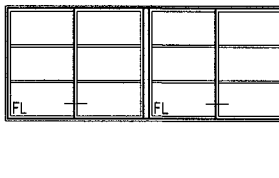


高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	高須小学校南舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具配置図【参考図】	縮尺	1/200	作図	令和7年 4月 日	A-16

【参考図】

高知市 都市建設部 公共建築課

番号 記号	室名	数量	1 AD 昇降口 南出入口 1階12階3階4階合計1	1 AW 昇降口 1階12階3階4階合計1	2 AW 廊下（1階） 1階12階3階4階合計1	3 AW 廊下（1階、2階、3階） 1階12階23階14階合計4	アルミ手摺	形状寸法	取付タイプ	L (mm) × ヲ所	手摺高さ	取付タイプ	L (mm) × ヲ所	手摺高さ																
形状寸法	新設		 1.710	 1.500	 1.560 170 1.560 3.190	 1.560 170 1.560 3.190		Aタイプ取付	L=3,950 × 7ヶ所 L=3,990 × 3ヶ所	(FL+1450) "	Bタイプ取付	L=1,790 × 2ヶ所 L=2,970 × 3ヶ所 L=3,385 × 1ヶ所 L=3,420 × 1ヶ所 L=3,660 × 3ヶ所	(FL+1450) " " " "																	
材種	見込		70		70		70		70																					
ガラス	アルミ製 ランマF I X付両開き戸 (腰:AP t=3.0) PW-6.8、ST-4.0				アルミ製 引き違い窓 ST-4.0		アルミ製 2連引き違い窓 ST-4.0		アルミ製 2連引き違い窓 PW-6.8																					
金物	H、DC、BH、PB、F、T 附属金物一式				附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式																					
備考							防火設備																							
番号 記号	室名	数量	5 AD 3、4階 CR 1階2階3階4階合計2	6 AD 外部階段出入口 1階2階13階14階合計3	6-1 AD 外部階段出入口 1階12階3階4階合計1	1 AW 1、2、3、4階 各室 1階12階23階14階合計4	5 AW 3、4階 廊下 1階2階3階4階合計3	 FL 450・400 1,450・1,200	Aタイプ取付	L=3,420 × 2ヶ所 L=3,385 × 1ヶ所 L=3,660 × 7ヶ所	(FL+1200) " "	Bタイプ取付	L=1,790 × 2ヶ所 L=2,970 × 3ヶ所 L=3,385 × 1ヶ所 L=3,420 × 1ヶ所 L=3,660 × 3ヶ所	(FL+1450) " " " "																
形状寸法	 1.800 170 1.800 3.670		 1.800	 1.805	 1.800 170 1.800 3.670	 1.800 170 1.800 3.670																								
材種	見込		70		70		70		70		70																			
ガラス	FL-3.0、AP-3.0		FL-3.0、AP-3.0		PW-6.8		FL-3.0		FL-3.0																					
金物																														
備考																														
番号 記号	室名	数量	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計	1階2階3階4階合計																
形状寸法																														
材種	見込																													
ガラス																														
金物																														
備考																														
【 参考図 】																														
建具記号			ガラス記号			建具金物記号			工 事 名			係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号														
AD	アルミ製扉		F	型板ガラス	PWL	縁入磨板ガラス	H	丁番（ステンレス）	高須小学校南舎外壁改修工事							A-18														
AW	アルミ製窓		FL	フロート板ガラス	AP	アルミパネル t=3.0	F	フランス落し	図 面 名 建具リスト2【参考図】			縮 尺	1 / 100	作 図	令和7年 3月 日															
TB	トイレブース		PW	網入磨板ガラス			BH	本締錠																						
ASP	アルミ学校用間仕切		ST	強化ガラス(学校向け)			LH	ラバトリーヒンジ																						